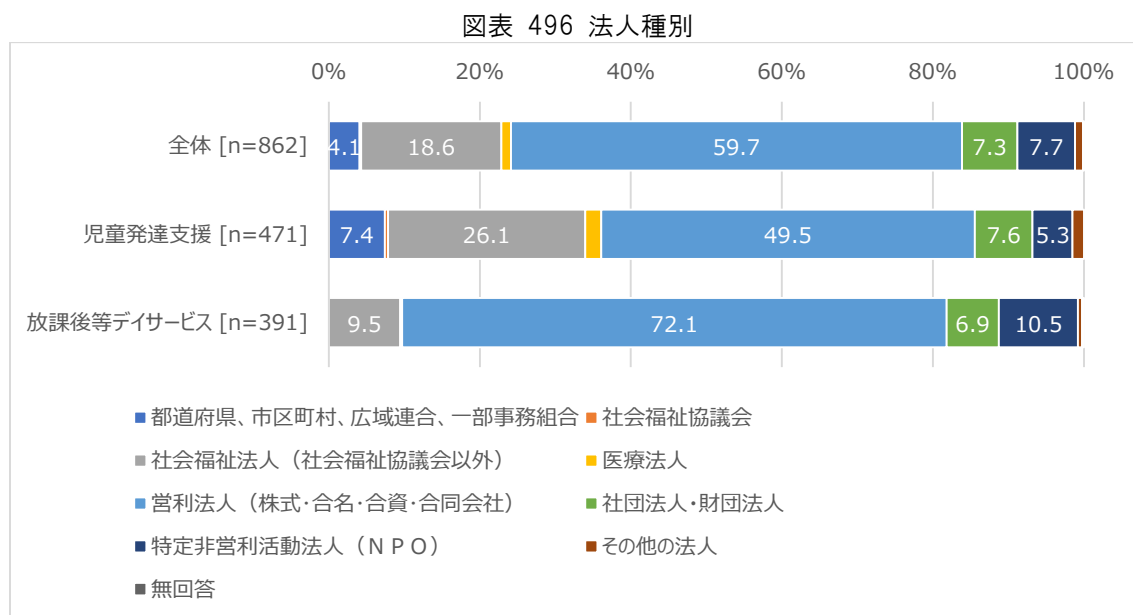


9 障害児通所支援事業所の実態調査

(1) 事業所の基本情報

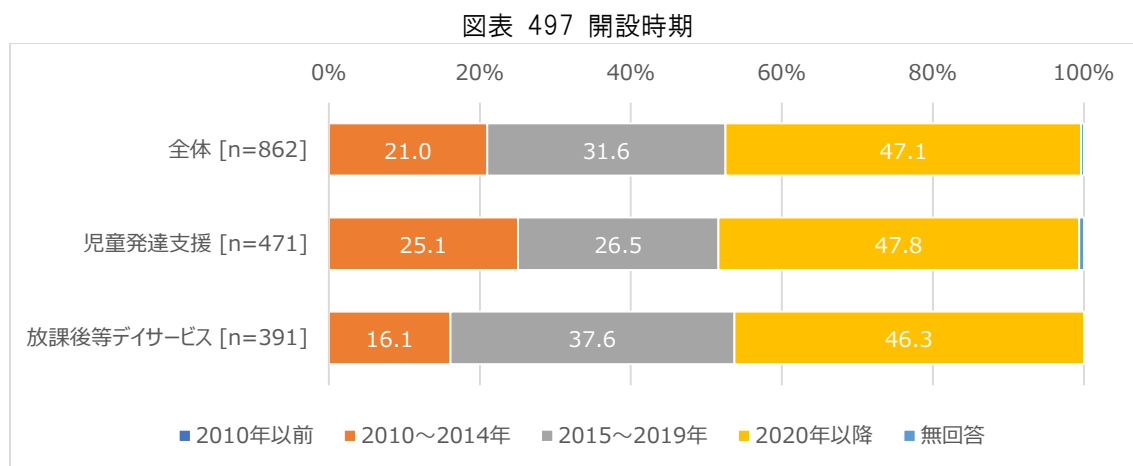
①法人種別

法人種別は、「営利法人（株式・合名・合資・合同会社）」が 59.7%と多くなっている。



②開設時期

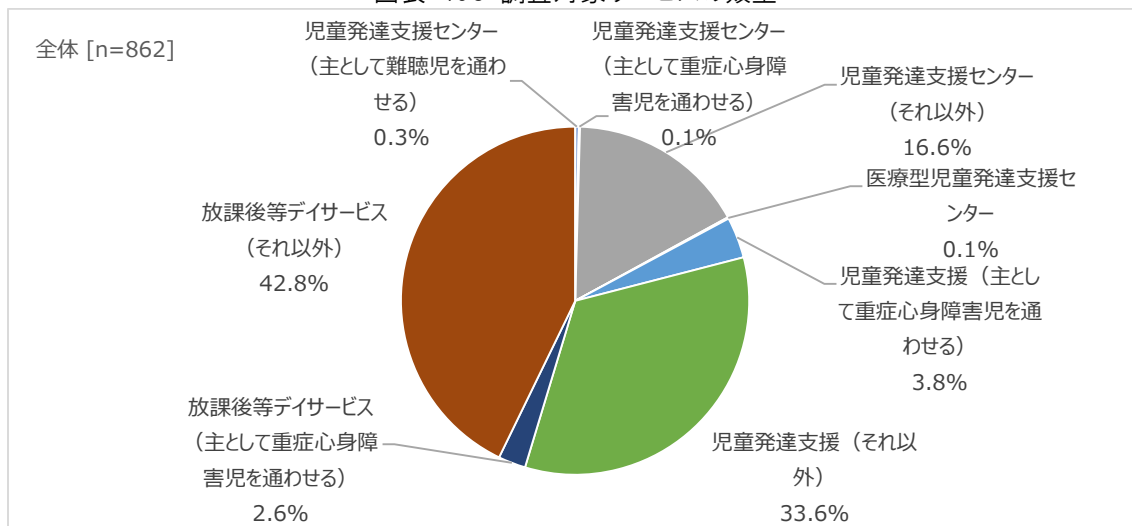
事業所の開設時期は、「2020 年以降」が 47.1%、「2015～2019 年」が 31.6%、「2010～2014 年」が 21.0%となっている。



③調査対象サービスの類型

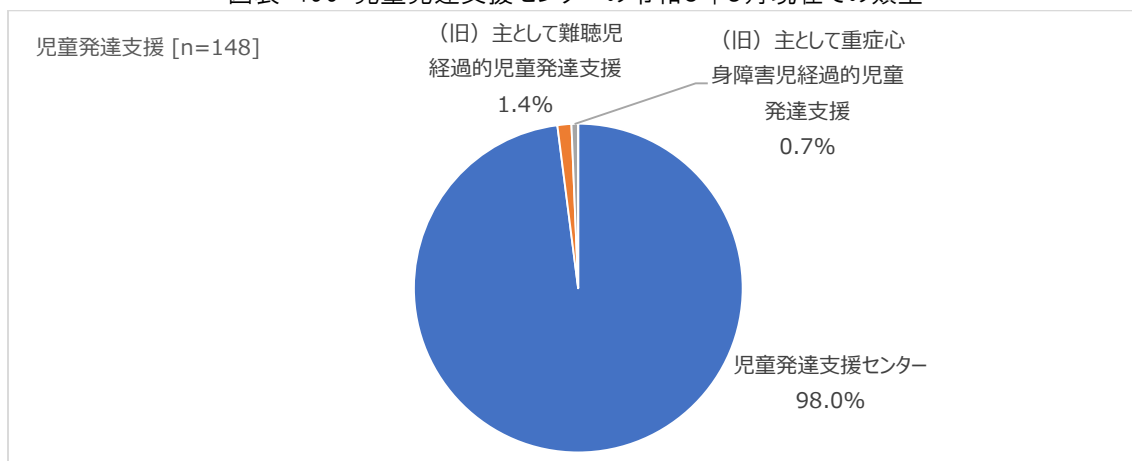
調査対象サービスの類型（児童発達支援センターは旧区分）は、「放課後等デイサービス（それ以外）」が42.8%、「児童発達支援（それ以外）」が33.6%、「児童発達支援センター（それ以外）」が16.6%、「児童発達支援（主として重症心身障害児を通わせる）」が3.8%、「放課後等デイサービス（主として重症心身障害児を通わせる）」が2.6%となっている。

図表 498 調査対象サービスの類型



類型が児童発達支援センターの事業所に、令和6年9月現在での類型を聞いたところ、「児童発達支援センター」が98.0%、「（旧）主として難聴児経過的児童発達支援」が1.4%、「（旧）主として重症心身障害児経過的児童発達支援」が0.7%となっている。

図表 499 児童発達支援センターの令和6年9月現在での類型



④調査対象サービスの定員数

調査対象サービスの定員数は、平均で令和5年9月は13.9人、令和6年9月は13.8人となっている。

図表 500 調査対象サービスの定員数

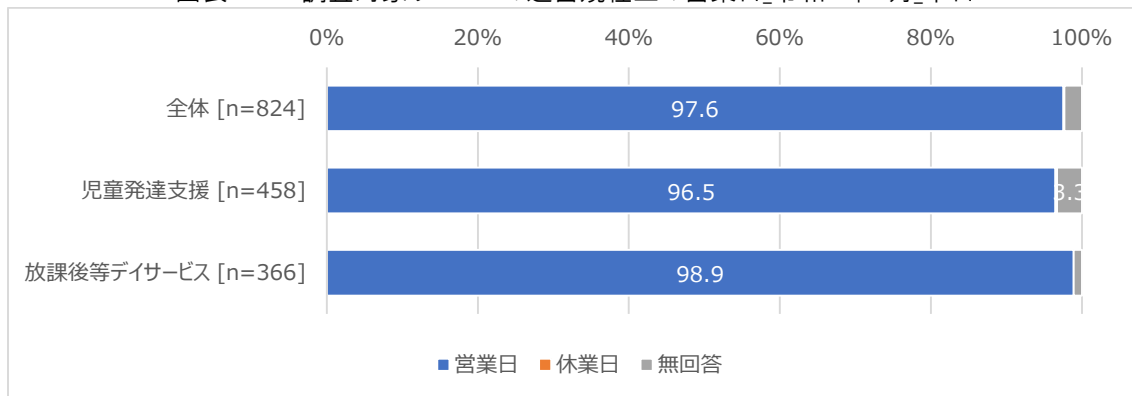
(単位：人)	全体 [n=806]	児童発達支援 [n=445]	放課後等デイサービス [n=361]
令和5年9月	13.9	16.5	10.6
(単位：人)	全体 [n=841]	児童発達支援 [n=457]	放課後等デイサービス [n=384]
令和6年9月	13.8	16.4	10.7

⑤調査対象サービスの運営規程上の営業日と営業時間

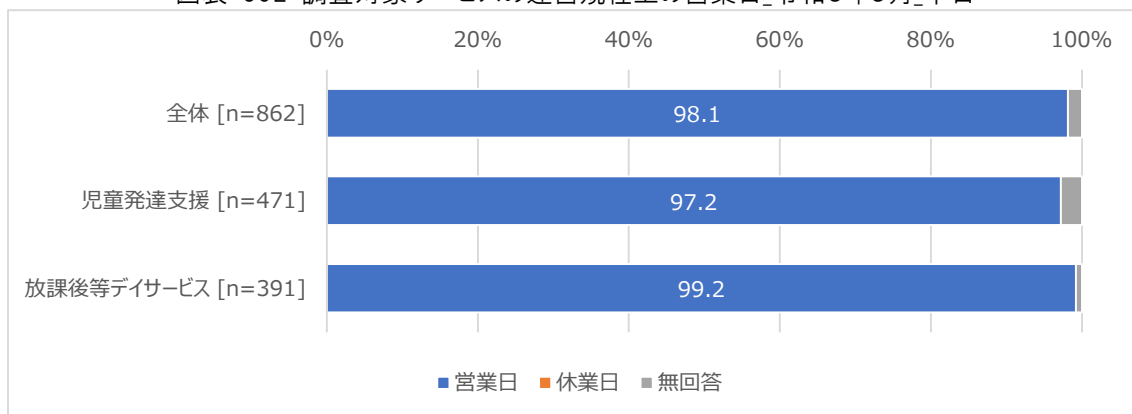
調査対象サービスの運営規程上の営業日と営業時間を聞いた。

平日については、令和5年9月で「営業日」が97.6%、令和6年9月で「営業日」が98.1%となっている。営業時間はいずれも平均で7.6時間となっている。

図表 501 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和5年9月_平日



図表 502 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和6年9月_平日

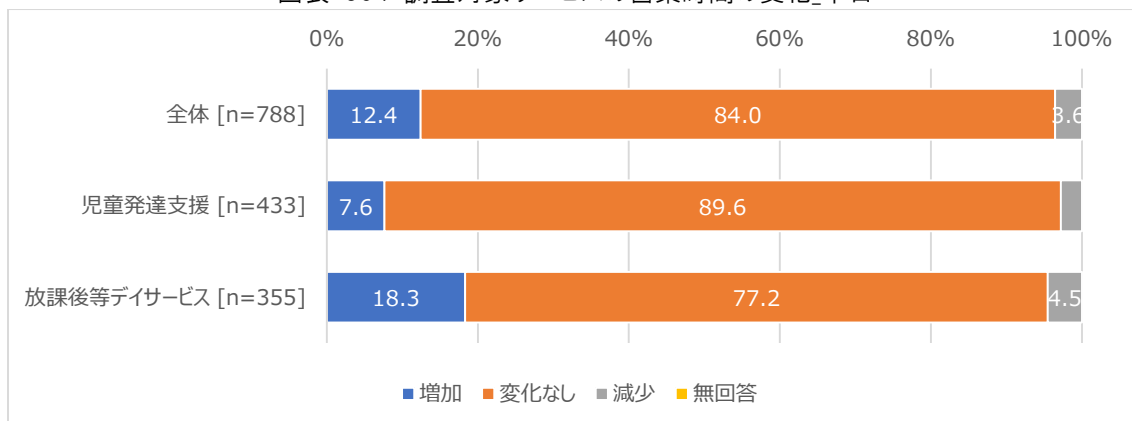


図表 503 調査対象サービスの運営規程上の営業時間_平日

(単位：時間)	全体 [n=789]	児童発達支援 [n=433]	放課後等デイサービス [n=356]
令和5年9月	7.6	7.7	7.5
(単位：時間)	全体 [n=840]	児童発達支援 [n=455]	放課後等デイサービス [n=385]
令和6年9月	7.6	7.7	7.5

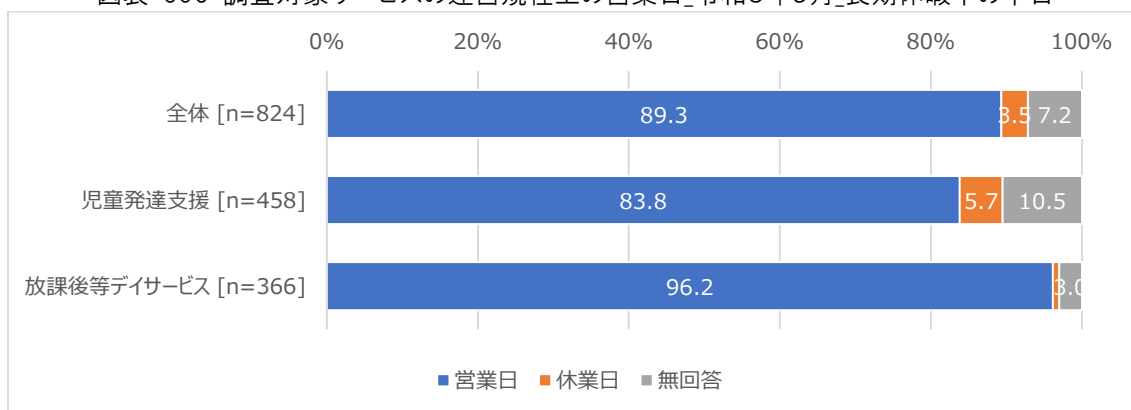
令和5年9月から令和6年9月の営業時間の変化を見ると、「変化なし」が84.0%、「増加」が12.4%、「減少」が3.6%となっている。

図表 504 調査対象サービスの営業時間の変化_平日

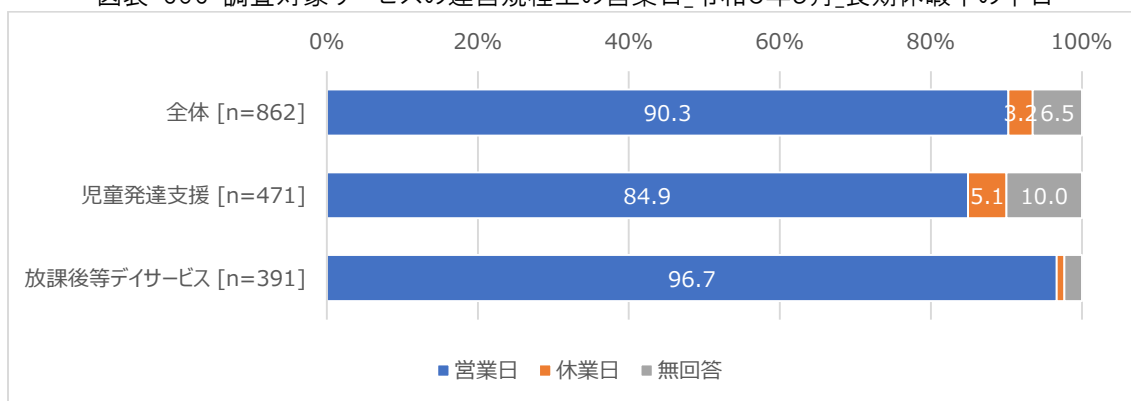


長期休暇中の平日については、令和5年9月で「営業日」が89.3%、令和6年9月で「営業日」が90.3%となっている。営業時間はいずれも平均で7.9時間となっている。

図表 505 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和5年9月_長期休暇中の平日



図表 506 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和6年9月_長期休暇中の平日

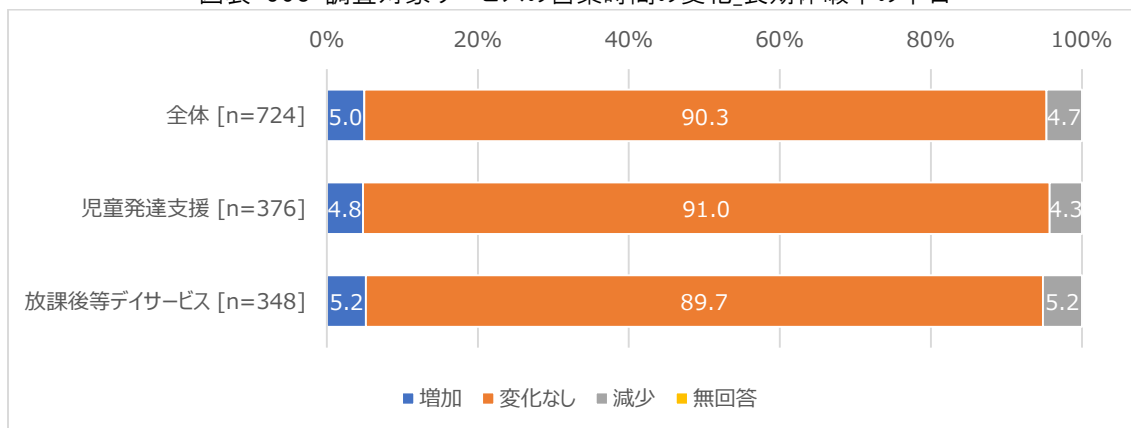


図表 507 調査対象サービスの運営規程上の営業時間_長期休暇中の平日

(単位：時間)	全体 [n=728]	児童発達支援 [n=377]	放課後等デイサービス [n=351]
令和5年9月	7.9	7.7	8.1
(単位：時間)	全体 [n=771]	児童発達支援 [n=394]	放課後等デイサービス [n=377]
令和6年9月	7.9	7.7	8.1

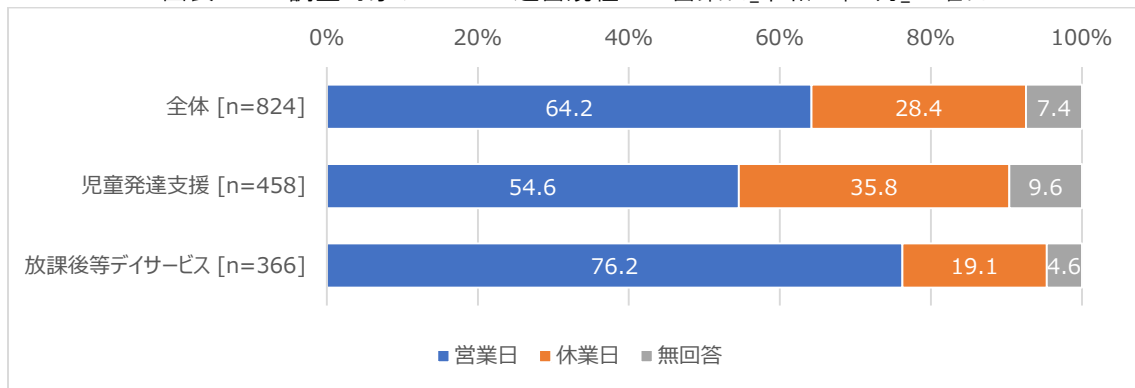
令和5年9月から令和6年9月の営業時間の変化を見ると、「変化なし」が90.3%、「増加」が5.0%、「減少」が4.7%となっている。

図表 508 調査対象サービスの営業時間の変化_長期休暇中の平日

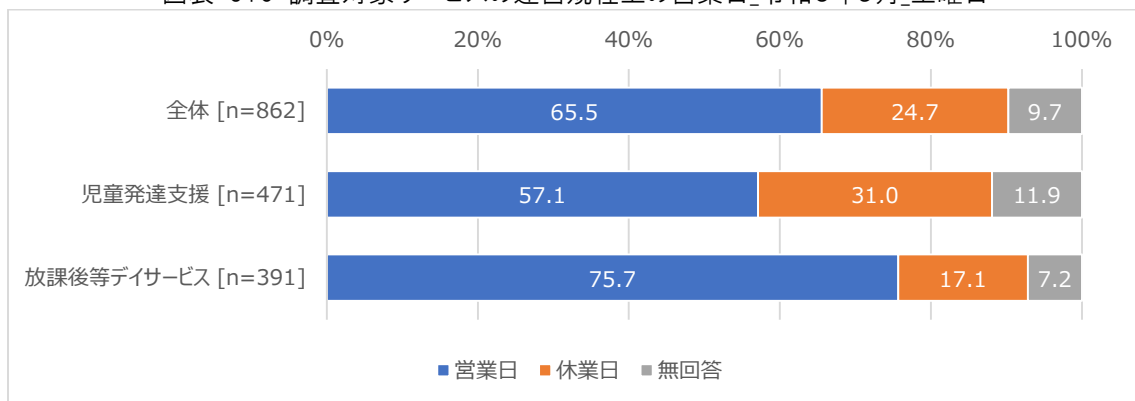


土曜日については、令和5年9月で「営業日」が64.2%、令和6年9月で「営業日」が65.5%となっている。営業時間はいずれも平均で7.7時間となっている。

図表 509 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和5年9月_土曜日



図表 510 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和6年9月_土曜日

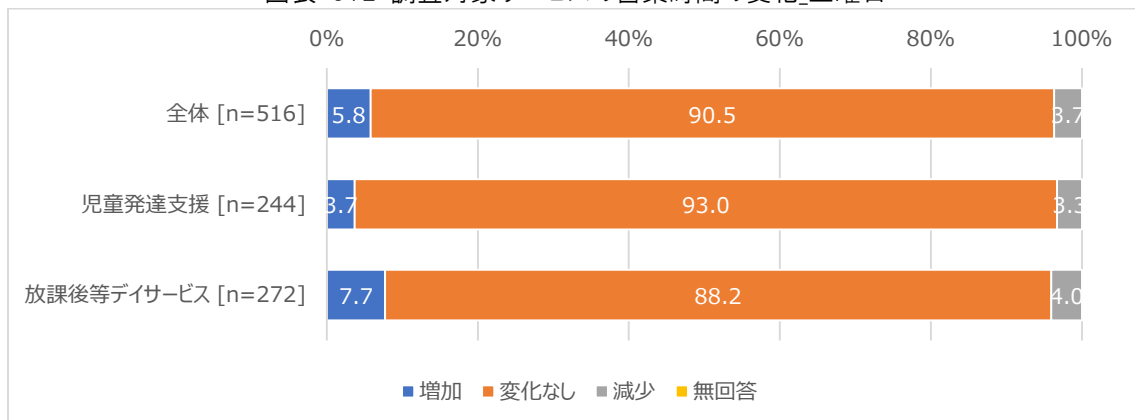


図表 511 調査対象サービスの運営規程上の営業時間_土曜日

(単位：時間)	全体 [n=525]	児童発達支援 [n=247]	放課後等デイサービス [n=278]
令和5年9月	7.7	7.5	8.0
(単位：時間)	全体 [n=562]	児童発達支援 [n=267]	放課後等デイサービス [n=295]
令和6年9月	7.7	7.5	8.0

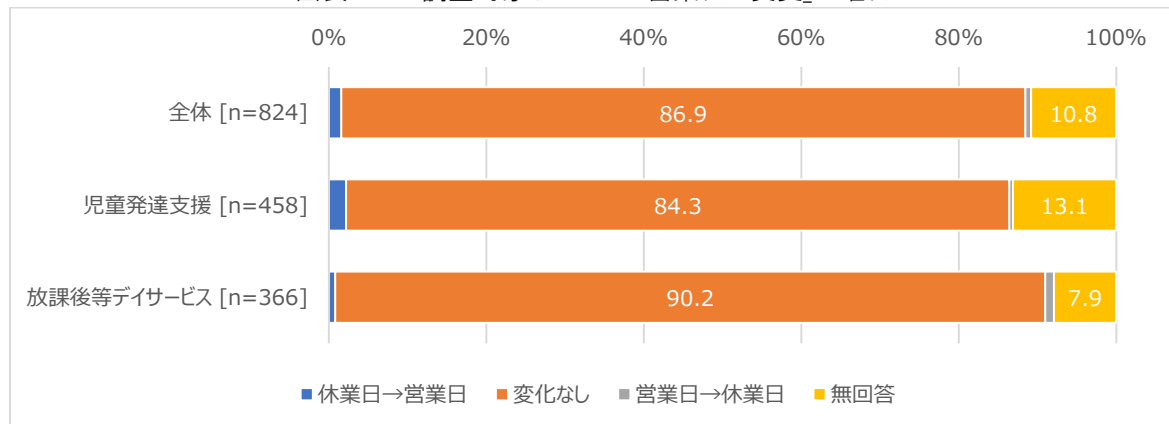
令和5年9月から令和6年9月の営業時間の変化を見ると、「変化なし」が90.5%、「増加」が5.8%、「減少」が3.7%となっている。

図表 512 調査対象サービスの営業時間の変化_土曜日



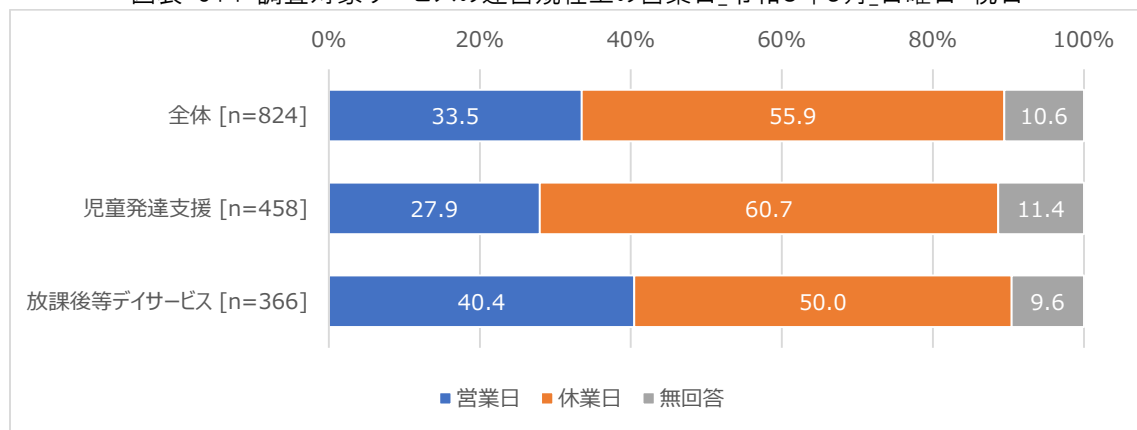
令和5年9月から令和6年9月で、営業日の変更があったかどうかを見ると、ほとんどの事業所は「変化なし」で、「休業日→営業日」に変更した事業所はわずかである。

図表 513 調査対象サービスの営業日の変更_土曜日

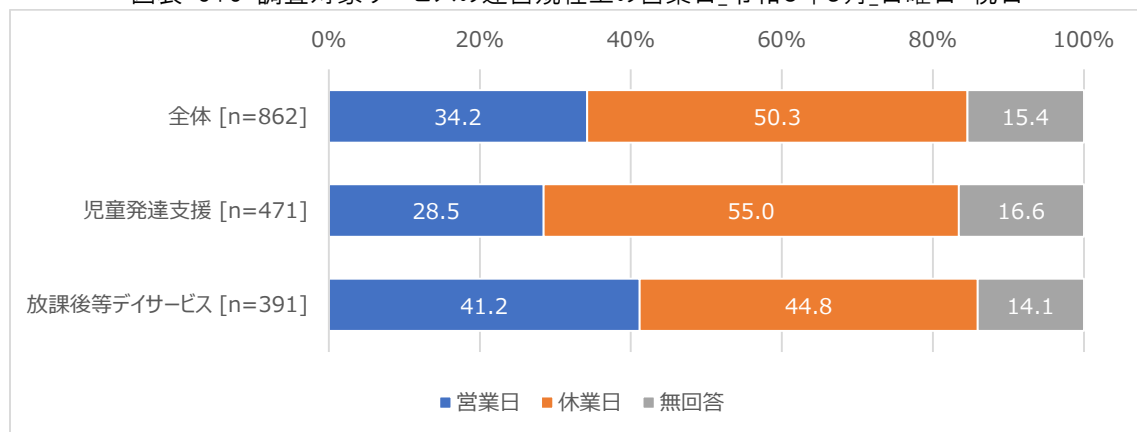


日曜日・祝日については、令和5年9月で「営業日」が33.5%、令和6年9月で「営業日」が34.2%となっている。営業時間は令和5年9月で平均7.8時間、令和6年9月で平均7.9時間となっている。

図表 514 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和5年9月_日曜日・祝日



図表 515 調査対象サービスの運営規程上の営業日_令和6年9月_日曜日・祝日

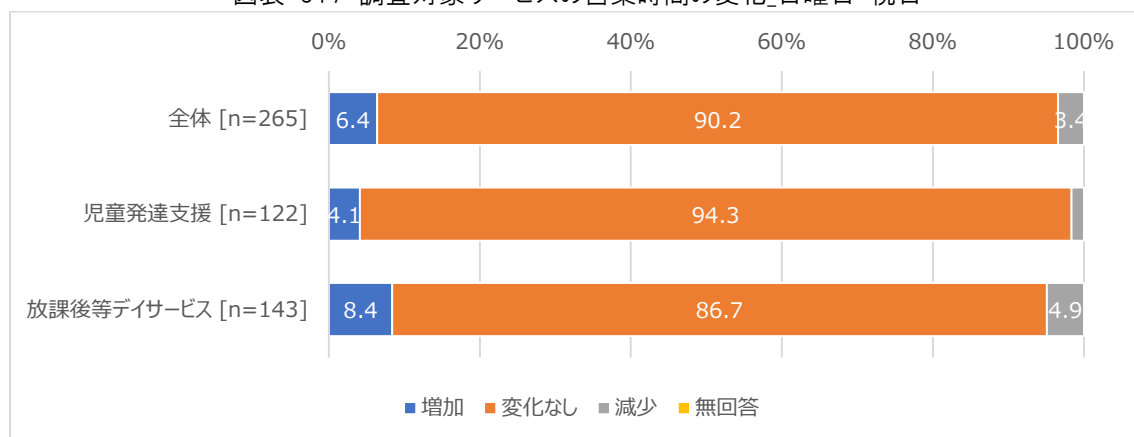


図表 516 調査対象サービスの運営規程上の営業時間_日曜日・祝日

(単位：時間)	全体 [n=272]	児童発達支援 [n=125]	放課後等デイサービス [n=147]
令和5年9月	7.8	7.8	7.9
(単位：時間)	全体 [n=293]	児童発達支援 [n=133]	放課後等デイサービス [n=160]
令和6年9月	7.9	7.8	7.9

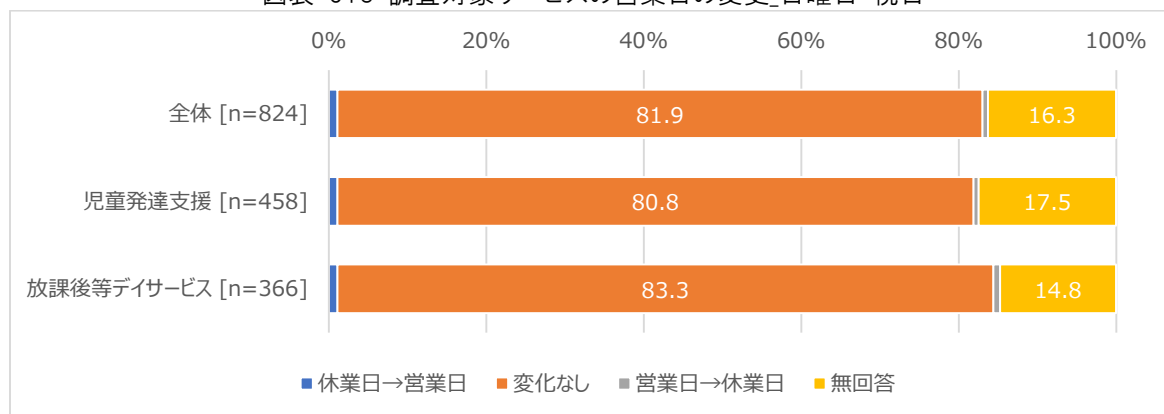
令和5年9月から令和6年9月の営業時間の変化を見ると、「変化なし」が90.2%、「増加」が6.4%、「減少」が3.4%となっている。

図表 517 調査対象サービスの営業時間の変化_日曜日・祝日



令和5年9月から令和6年9月で、営業日の変更があったかどうかを見ると、ほとんどの事業所は「変化なし」で、「休業日→営業日」に変更した事業所はわずかである。

図表 518 調査対象サービスの営業日の変更_日曜日・祝日



⑥調査対象サービスの職員配置人数

調査対象サービスの職員配置人数は、平均で実人数の合計が9.8人、常勤換算人数の合計が7.1人となっている。

図表 519 調査対象サービスの職員配置人数

(単位：人)		全体 [n=793]	児童発達支援センタ ー [n=138]	児童発達支援事業 所 [n=297]	放課後等デイサービ ス [n=358]
実人数	管理者	1.0	1.0	0.9	1.0
	児童発達支援管理責任者	1.0	1.2	1.0	1.0
	その他の職員	7.8	16.2	6.3	5.9
	合計	9.8	18.3	8.3	7.8
常勤換算人数	管理者	0.8	0.9	0.8	0.8
	児童発達支援管理責任者	1.0	1.1	0.9	0.9
	その他の職員	5.3	11.6	4.2	3.9
	合計	7.1	13.5	5.9	5.6

⑦調査対象サービスにおける職種等の配置人数

調査対象サービスにおける職種等の配置人数を聞いたところ、以下のようになっている。実人数で、児童指導員が 3.0 人、保育士が 3.1 人、常勤換算人数で、児童指導員が 2.2 人、保育士が 2.4 人等となっている。

図表 520 調査対象サービスにおける職種等の配置人数

(単位：人)		全体 [n=785]	児童発達支援センター [n=138]	児童発達支援事業所 [n=295]	放課後等デイサービス [n=352]
実人数	看護職員	0.4	0.8	0.5	0.3
	理学療法士	0.3	0.6	0.2	0.1
	作業療法士	0.3	0.8	0.2	0.1
	言語聴覚士	0.3	1.1	0.3	0.1
	心理担当職員	0.3	0.9	0.2	0.2
	喀痰吸引等研修修了者	0.1	0.1	0.1	0.0
	児童指導員	3.0	3.7	2.5	3.1
	保育士	3.1	7.9	2.4	1.7
	栄養士・管理栄養士	0.1	0.6	0.0	0.0
	意思疎通に関して専門性を有する人材	0.0	0.1	0.0	0.0
常勤換算人数	看護職員	0.3	0.5	0.3	0.2
	理学療法士	0.2	0.3	0.2	0.1
	作業療法士	0.2	0.4	0.2	0.1
	言語聴覚士	0.2	0.7	0.2	0.0
	心理担当職員	0.2	0.6	0.1	0.1
	喀痰吸引等研修修了者	0.1	0.1	0.1	0.0
	児童指導員	2.2	2.9	1.8	2.2
	保育士	2.4	6.2	1.9	1.3
	栄養士・管理栄養士	0.1	0.5	0.0	0.0
	意思疎通に関して専門性を有する人材	0.0	0.1	0.0	0.0

⑧視覚聴覚言語機能障害児支援加算を算定している場合の専門職の人数

視覚聴覚言語機能障害児支援加算を算定している場合に、専門職の配置人数を聞いたところ、平均で言語聴覚士が 1.0 人、作業療法士が 0.4 人等となっている。

図表 521 視覚聴覚言語機能障害児支援加算を算定している場合の専門職の人数

(単位：人)	全体 [n=19]	児童発達支援センター [n=6]	児童発達支援事業所 [n=5]	放課後等デイサービス [n=8]
障害当事者	0.1	0.0	0.0	0.3
障害当事者の親	0.2	0.0	0.0	0.4
作業療法士	0.4	0.7	0.4	0.1
言語聴覚士	1.0	2.0	0.6	0.5
手話通訳士	0.2	0.0	0.0	0.4
視能訓練士	0.0	0.0	0.0	0.0
要約筆記者	0.0	0.0	0.0	0.0
盲ろう者向け通訳・介助員	0.0	0.0	0.0	0.0
失語症向け意思疎通支援者	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.0	0.0	0.3

(2) 利用者の受入等の状況

①調査対象サービスの実利用者数

調査対象サービスの実利用者数を聞いたところ、令和5年9月では、平均で利用者総数が18.3人、うち、医療的ケア児が0.3人、重症心身障害児が0.4人となっている。

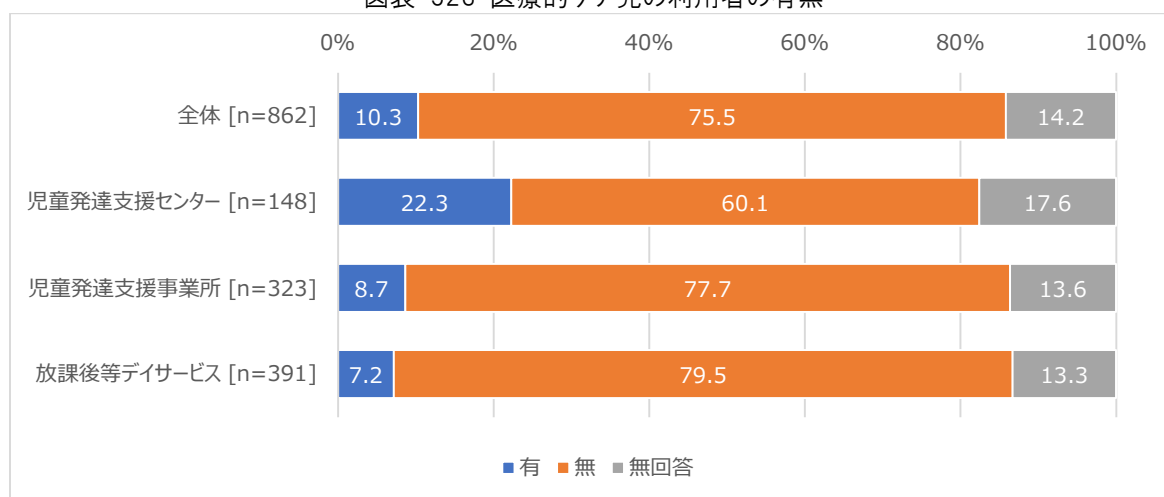
令和6年9月では、平均で利用者総数が19.2人、うち、医療的ケア児が0.3人、重症心身障害児が0.5人となっている。また、令和6年4月以降の新規利用者数は平均で4.5人となっている。

図表 522 調査対象サービスの実利用者数

対象サービス (単位：人)		全体 [n=529]	児童発達支援センター [n=76]	児童発達支援事業所 [n=209]	放課後等デイサービス [n=244]
令和5年9月	利用者総数	18.3	32.6	13.6	17.9
	うち、医療的ケア児	0.3	0.4	0.3	0.3
	うち、医療的ケア判定スコアが16点以上	0.1	0.1	0.1	0.2
	うち、医療的ケア判定スコアが32点以上	0.1	0.1	0.1	0.1
	うち、重症心身障害児	0.4	0.4	0.4	0.4
対象サービス (単位：人)		全体 [n=588]	児童発達支援センター [n=77]	児童発達支援事業所 [n=235]	放課後等デイサービス [n=276]
令和6年9月	利用者総数	19.2	34.0	14.6	18.9
	うち、医療的ケア児	0.3	0.3	0.3	0.3
	うち、医療的ケア判定スコアが16点以上	0.2	0.1	0.2	0.2
	うち、医療的ケア判定スコアが32点以上	0.1	0.0	0.1	0.1
	うち、重症心身障害児	0.5	0.4	0.5	0.5
令和6年4月以降の新規利用者数	利用者総数	4.5	9.5	4.0	3.4
	うち、医療的ケア児	0.0	0.0	0.1	0.0
	うち、医療的ケア判定スコアが16点以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケア判定スコアが32点以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、重症心身障害児	0.1	0.1	0.1	0.1

令和6年9月で、医療的ケア児の利用者が1名以上いると回答した事業所は、10.3%となっている。

図表 523 医療的ケア児の利用者の有無

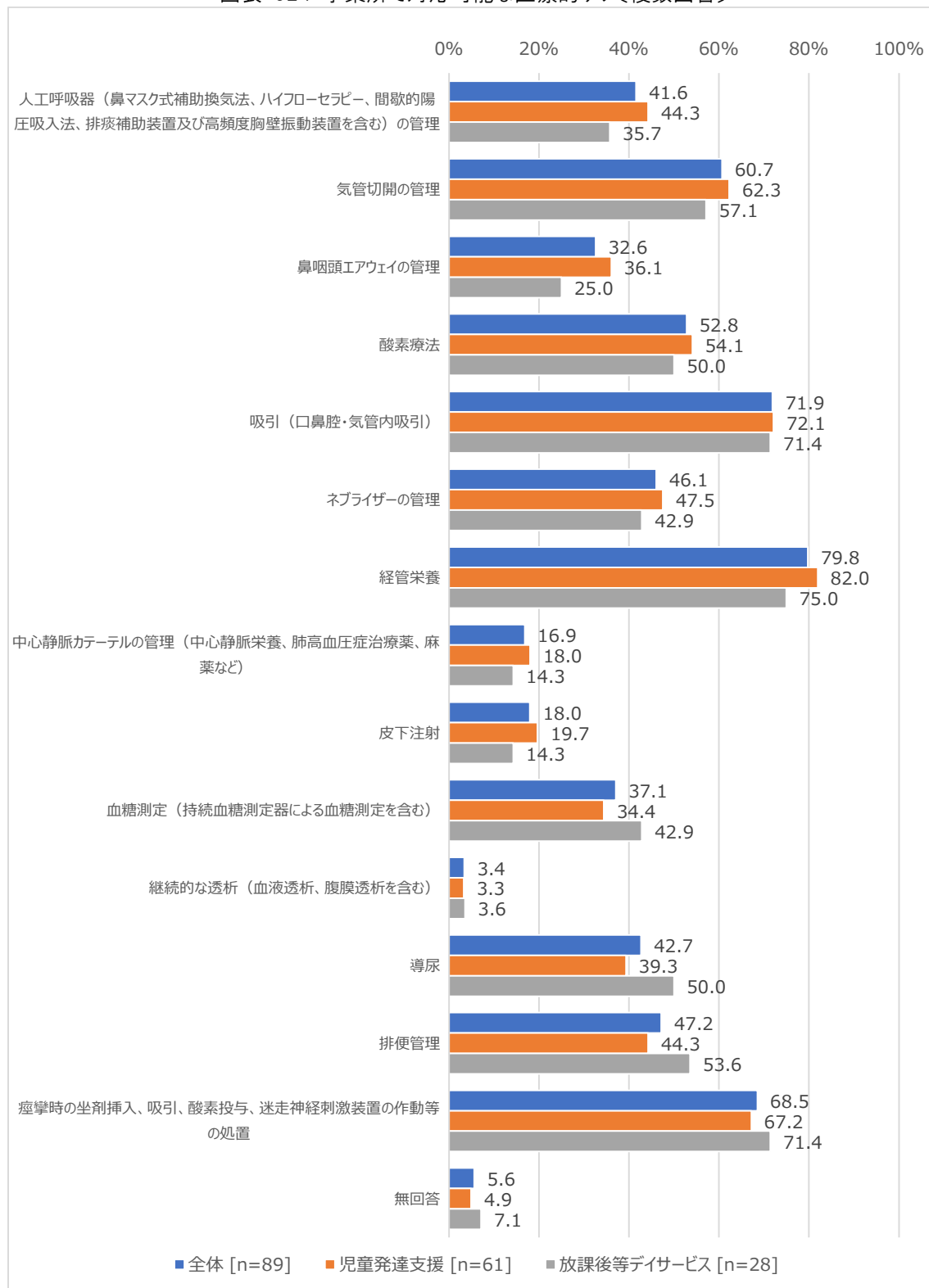


②医療的ケアの対応状況

令和6年9月に医療的ケア児が1人以上いる事業所に、医療的ケアの対応状況を聞いた。

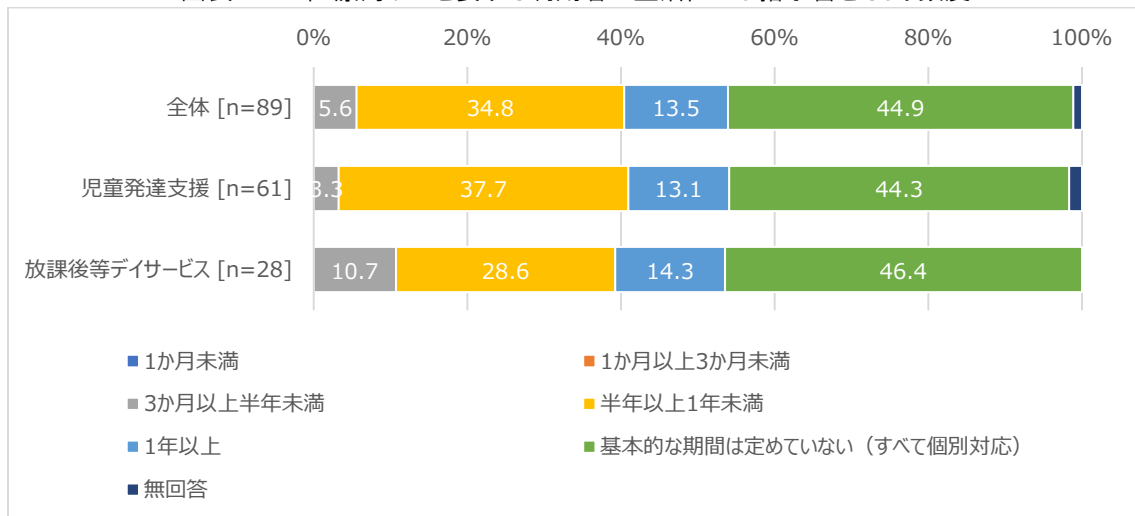
事業所に対応可能な医療的ケアは、「経管栄養」が79.8%、「吸引（口鼻腔・気管内吸引）」が71.9%、「痙攣時の坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置」が68.5%、「気管切開の管理」が60.7%、「酸素療法」が52.8%等となっている。

図表 524 事業所に対応可能な医療的ケア〔複数回答〕



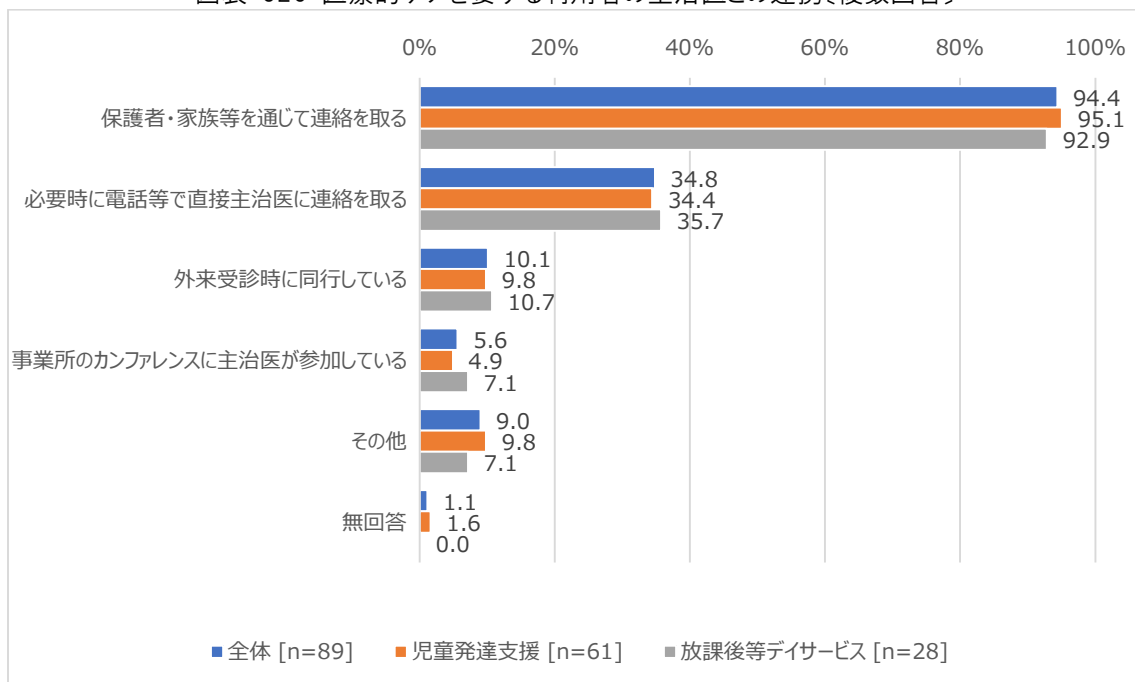
医療的ケアを要する利用者の主治医から指示書をもらう頻度は、「基本的な期間は定めていない（すべて個別対応）」が 44.9%、「半年以上 1 年未満」が 34.8%となっている。

図表 525 医療的ケアを要する利用者の主治医から指示書をもらう頻度



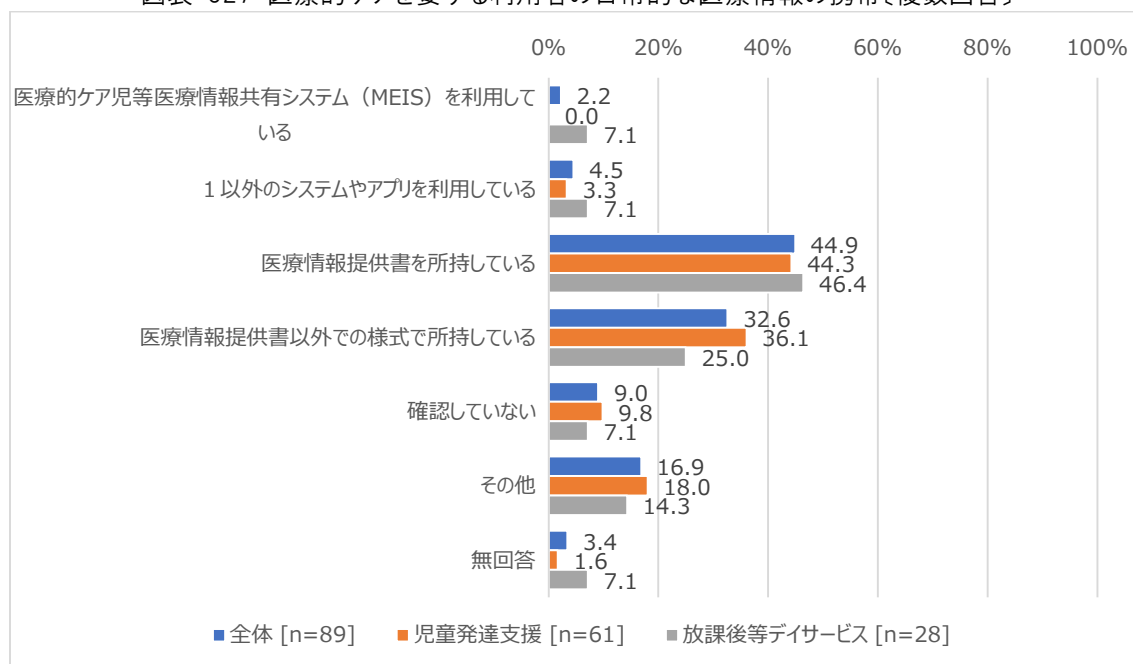
医療的ケアを要する利用者の主治医との連携については、「保護者・家族等を通じて連絡を取る」が 94.4%と多くなっている。

図表 526 医療的ケアを要する利用者の主治医との連携〔複数回答〕



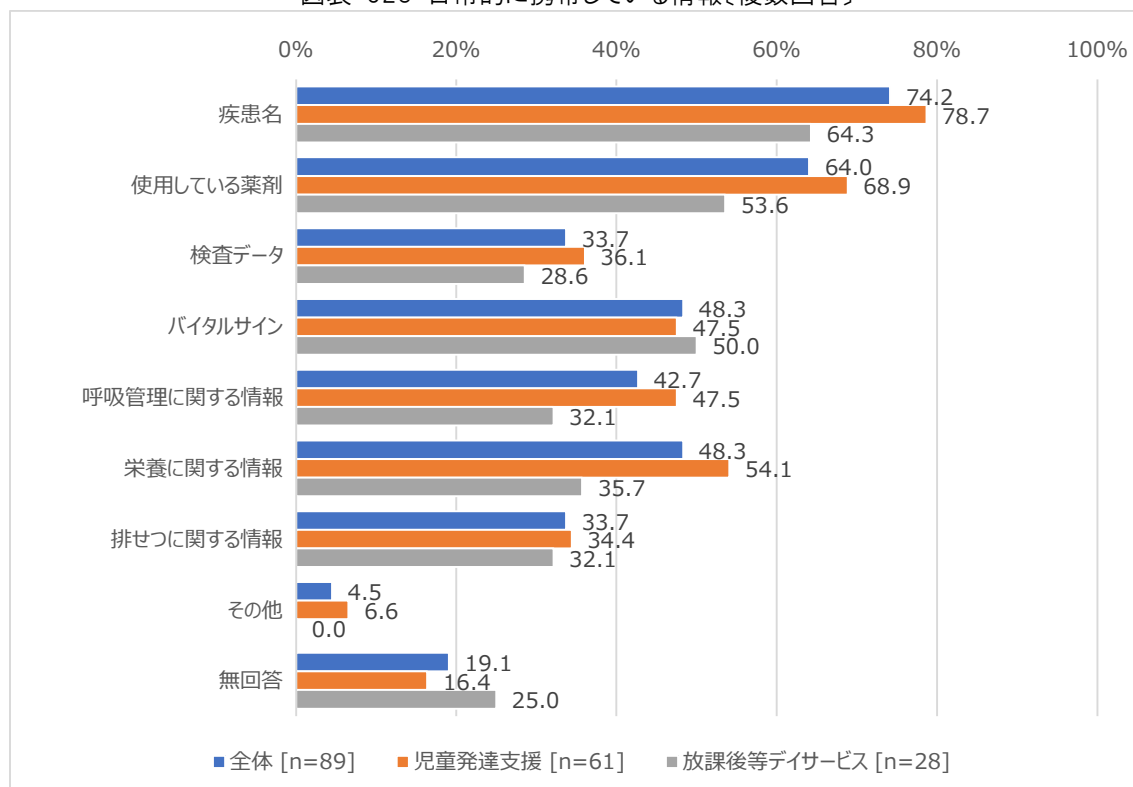
医療的ケアを要する利用者の日常的な医療情報の携帯について聞いたところ、「医療情報提供書を所持している」が44.9%、「医療情報提供書以外での様式で所持している」が32.6%となっている。

図表 527 医療的ケアを要する利用者の日常的な医療情報の携帯〔複数回答〕



日常的に携帯している情報は、「疾患名」が74.2%、「使用している薬剤」が64.0%、「バイタルサイン」「栄養に関する情報」がいずれも48.3%、「呼吸管理に関する情報」が42.7%、「検査データ」「排泄に関する情報」がいずれも33.7%となっている。なお、「無回答」が比較的多く見られるが、日常的な携帯に関して判断が難しかった場合等も含まれると想定される。

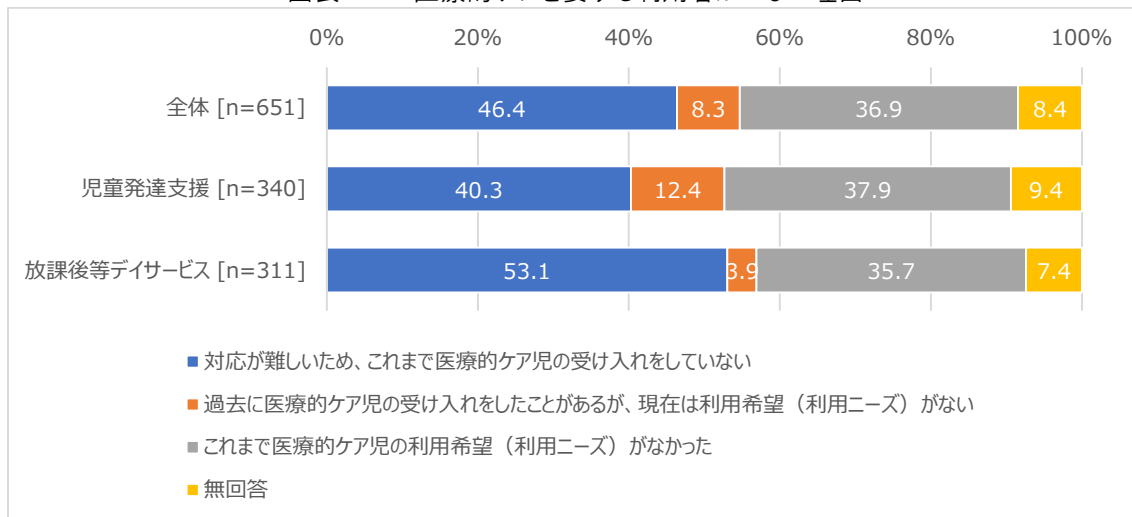
図表 528 日常的に携帯している情報〔複数回答〕



③医療的ケア児がいない事業所の状況

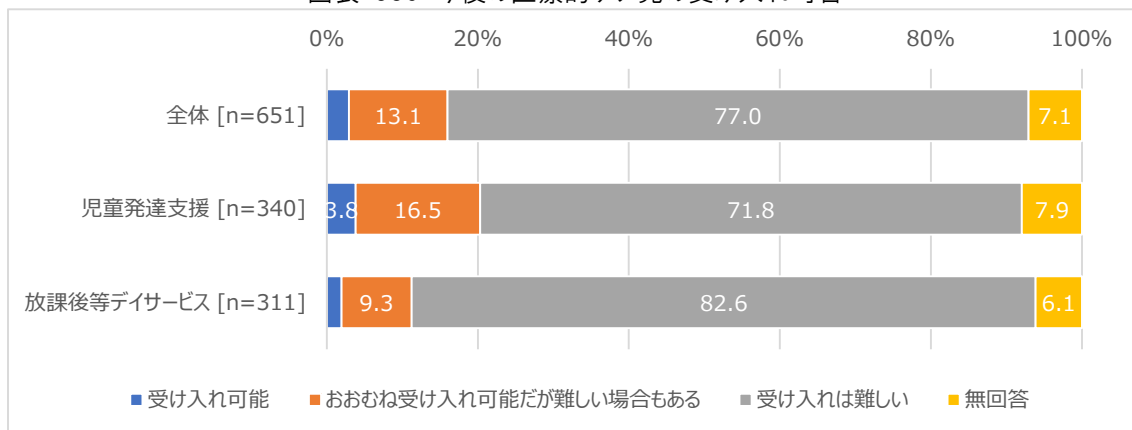
医療的ケア児がいない事業所に、医療的ケアを要する利用者がいない理由を聞いたところ、「対応が難しいため、これまで医療的ケア児の受け入れをしていない」が46.4%、「これまで医療的ケア児の利用希望（利用ニーズ）がなかった」が36.9%となっている。

図表 529 医療的ケアを要する利用者がいない理由



今後の医療的ケア児の受け入れ可否については、「受け入れは難しい」が77.0%と多くなっている。

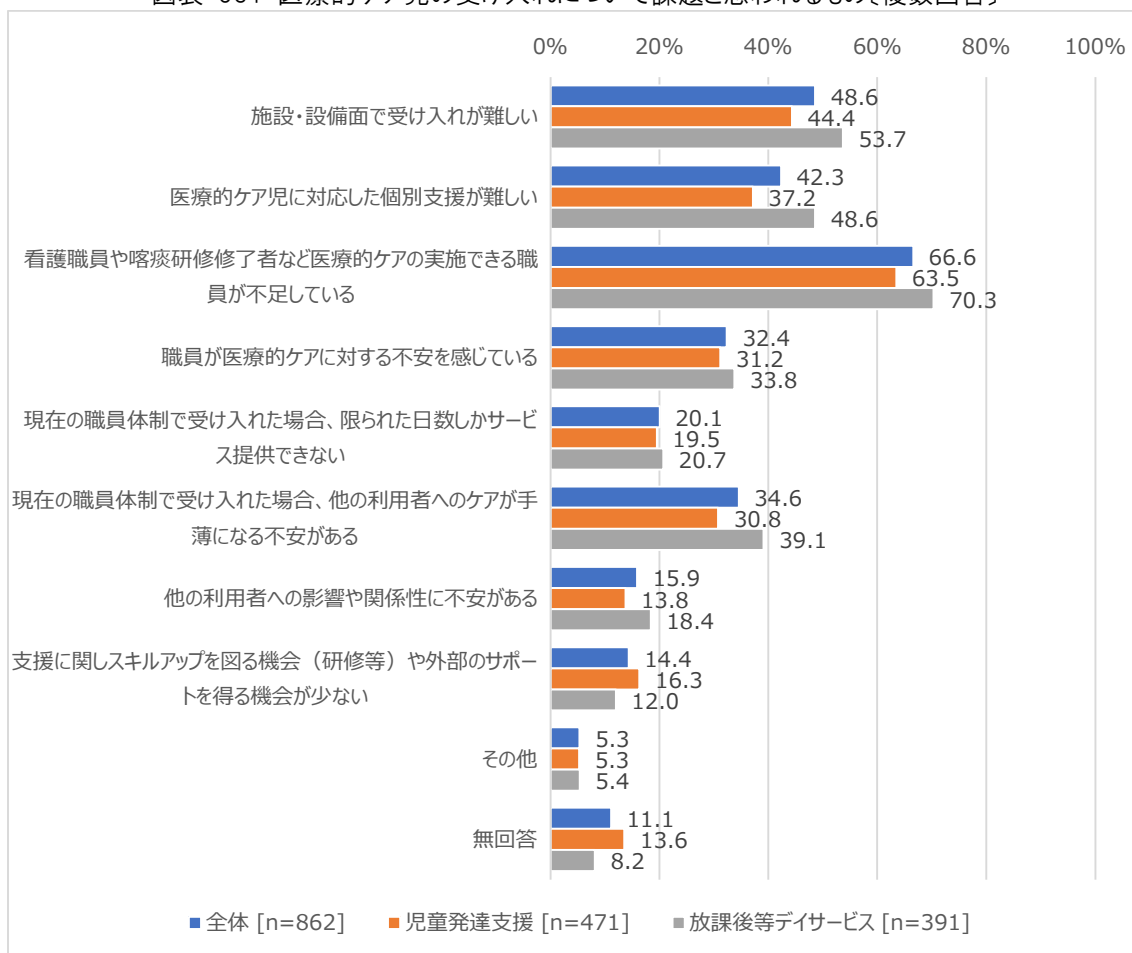
図表 530 今後の医療的ケア児の受け入れ可否



④医療的ケア児の受け入れについて課題と思われるもの

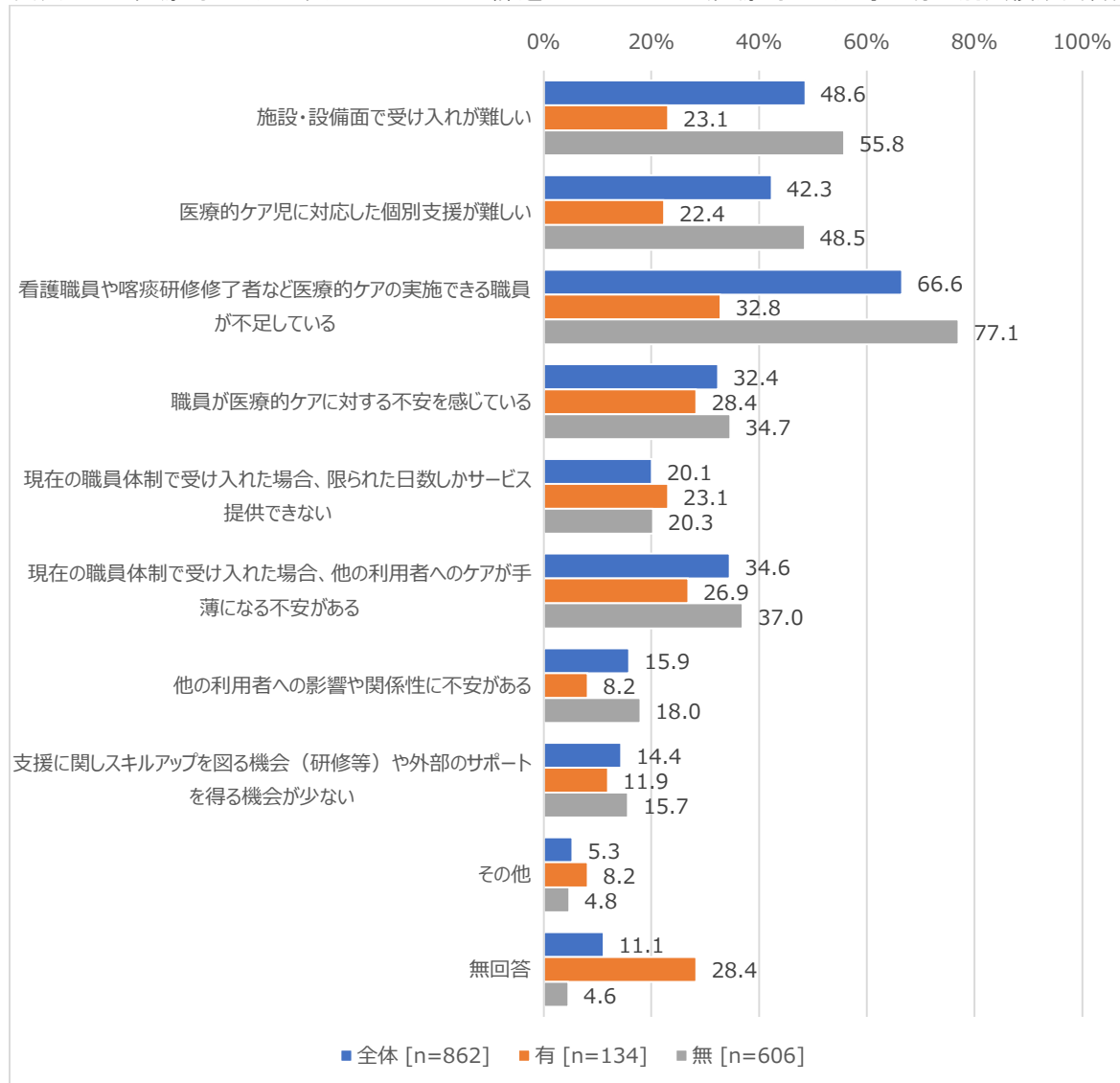
医療的ケア児の受け入れについて課題と思われるものを聞いたところ、「看護職員や喀痰研修修了者など医療的ケアの実施できる職員が不足している」が66.6%と最も多く、次いで、「施設・設備面で受け入れが難しい」が48.6%、「医療的ケア児に対応した個別支援が難しい」が42.3%となっている。

図表 531 医療的ケア児の受け入れについて課題と思われるもの〔複数回答〕



利用者に医療的ケア児等がいるかどうかで見ると、「看護職員や喀痰研修修了者など医療的ケアの実施できる職員が不足している」や「施設・設備面で受け入れが難しい」、「医療的ケア児に対応した個別支援が難しい」等について、医療的ケア児等がない事業所で割合が高くなっている。

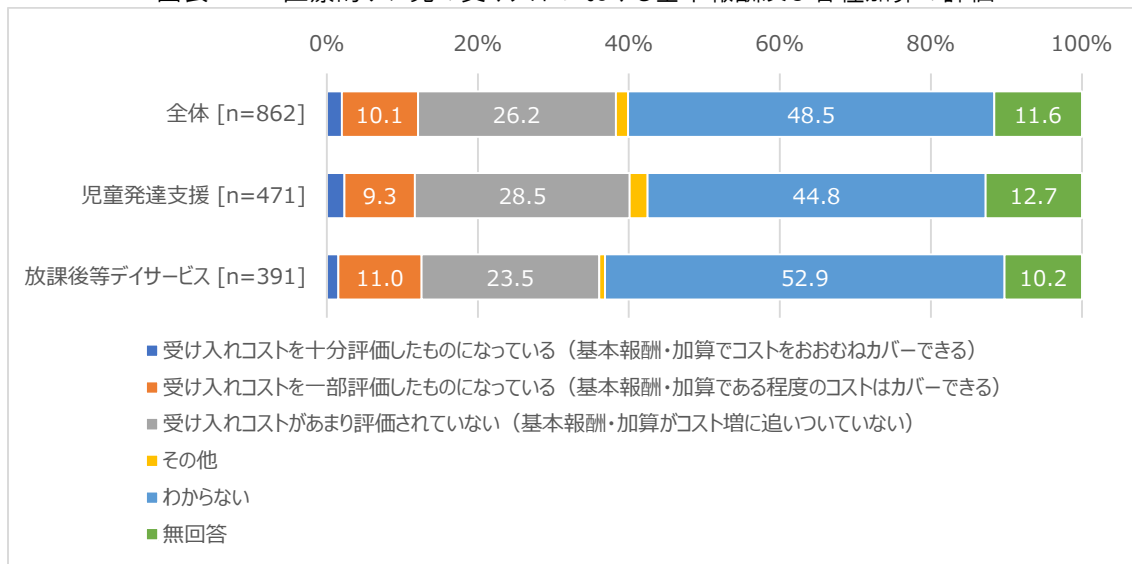
図表 532 医療的ケア児の受け入れについて課題と思われるもの(医療的ケア児等の有無別)(複数回答)



⑤医療的ケア児の受け入れにおける基本報酬及び各種加算の評価

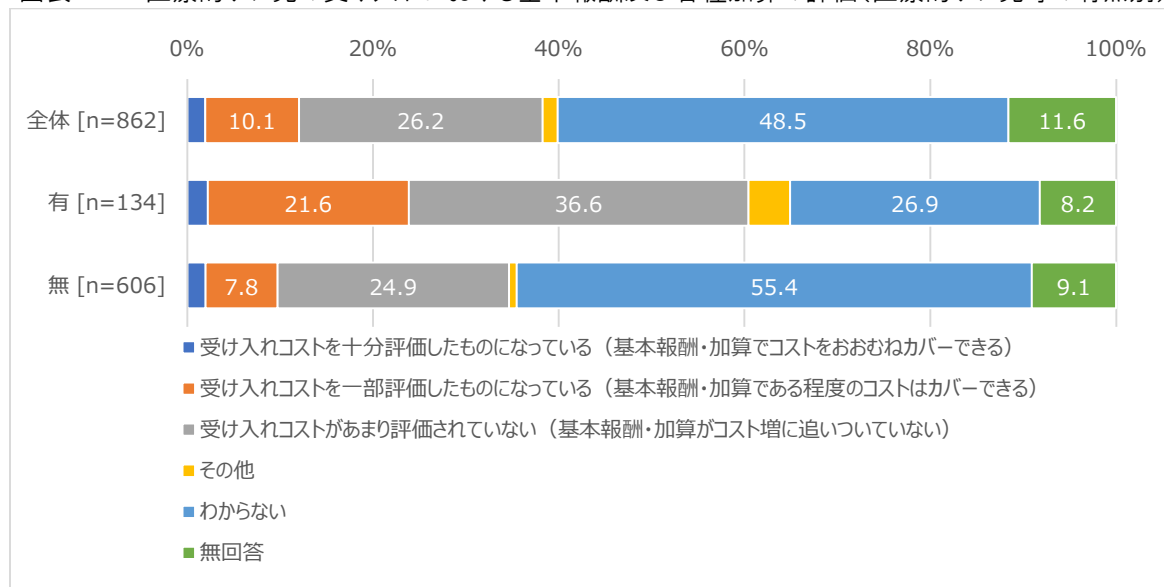
医療的ケア児の受け入れにおける基本報酬及び各種加算の評価を聞いたところ、「わからない」が48.5%と多く、次いで、「受け入れコストがあまり評価されていない（基本報酬・加算がコスト増に追いついていない）」が26.2%となっている。

図表 533 医療的ケア児の受け入れにおける基本報酬及び各種加算の評価



利用者に医療的ケア児等がいるかどうかで見ると、医療的ケア児等がない事業所で「わからない」の割合が高くなっている。

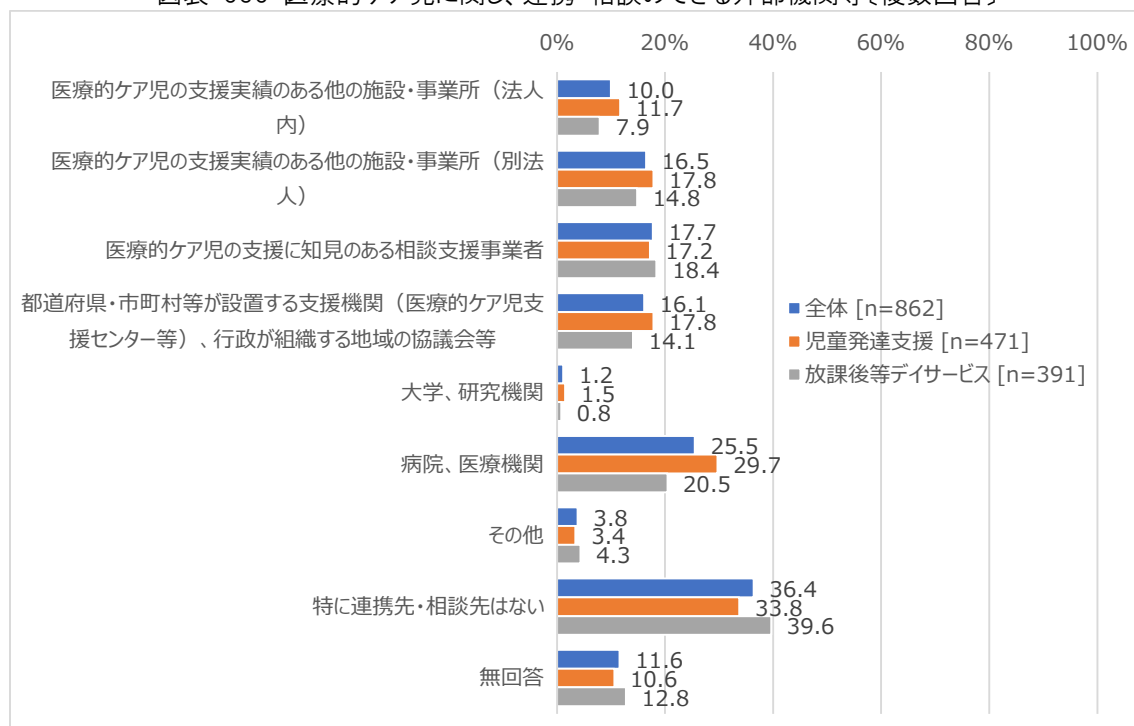
図表 534 医療的ケア児の受け入れにおける基本報酬及び各種加算の評価（医療的ケア児等の有無別）



⑥医療的ケア児に関し、連携・相談のできる外部機関等

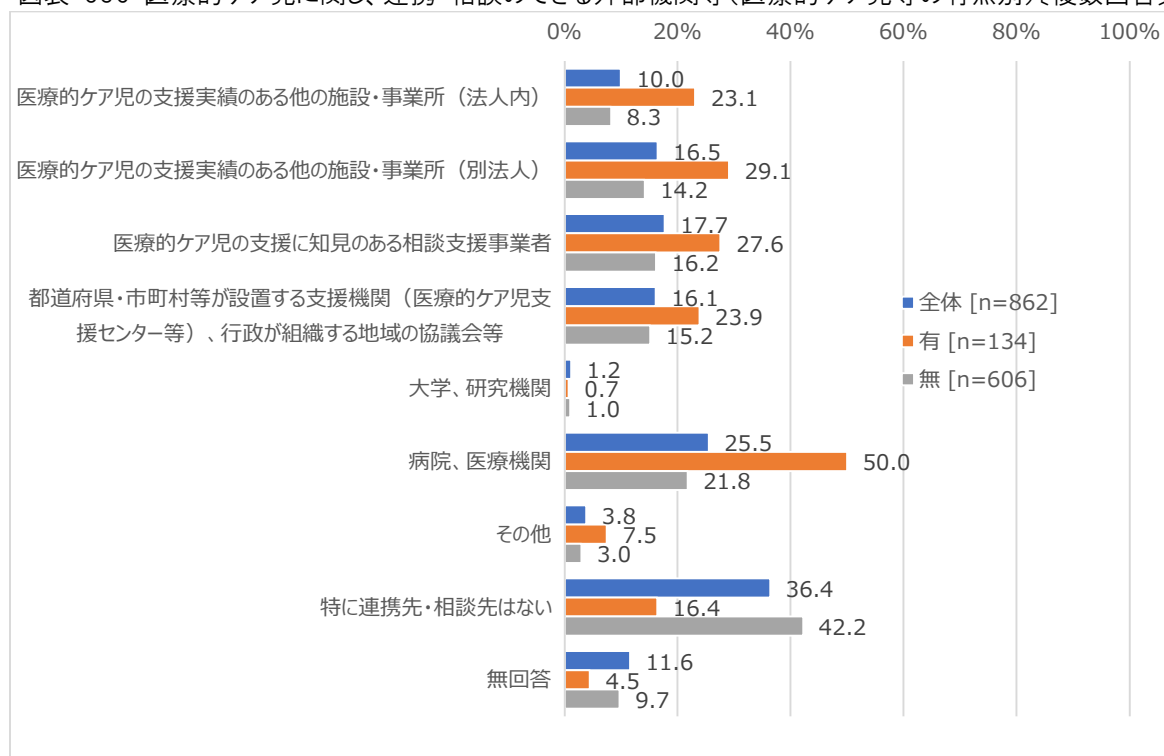
医療的ケア児に関し、連携・相談のできる外部機関等の有無を聞いたところ、「特に連携先・相談先はない」が36.4%と多くなっている。連携・相談先のある場合は、「病院、医療機関」が25.5%、「医療的ケア児の支援に知見のある相談支援事業者」が17.7%等となっている。

図表 535 医療的ケア児に関し、連携・相談のできる外部機関等〔複数回答〕



利用者に医療的ケア児等がいるかどうかで見ると、医療的ケア児等がいる事業所で全般的に割合が高くなっている。

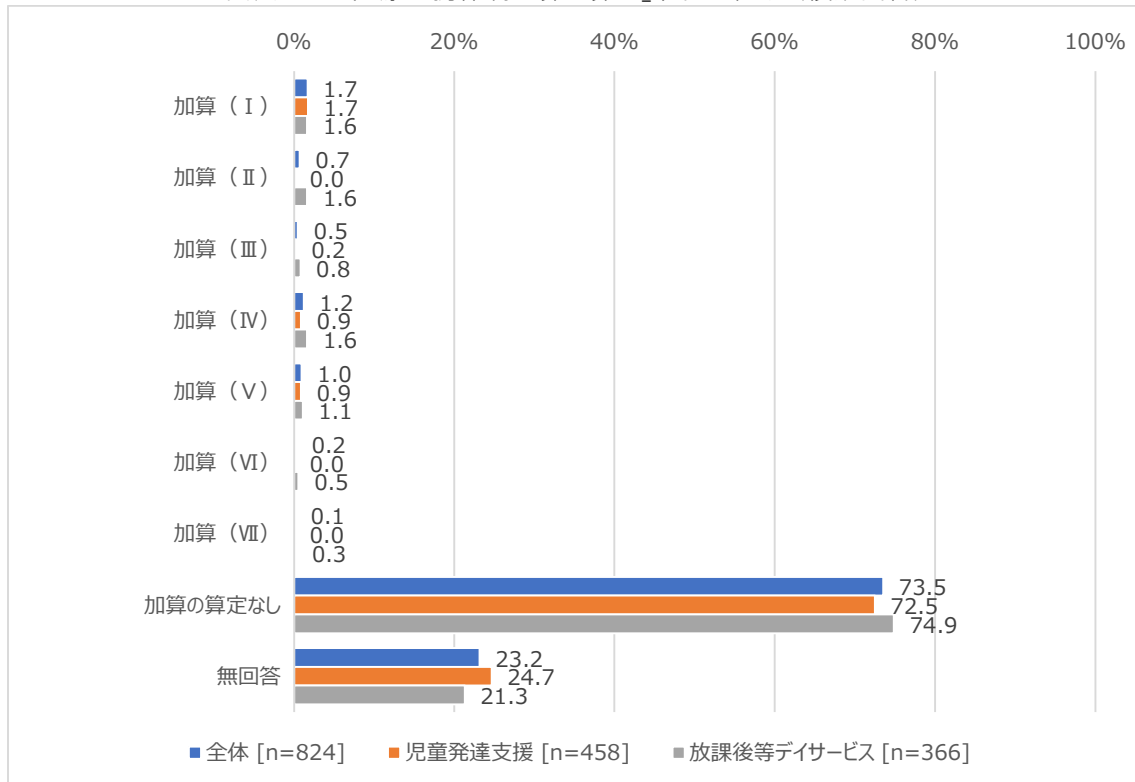
図表 536 医療的ケア児に関し、連携・相談のできる外部機関等(医療的ケア児等の有無別)〔複数回答〕



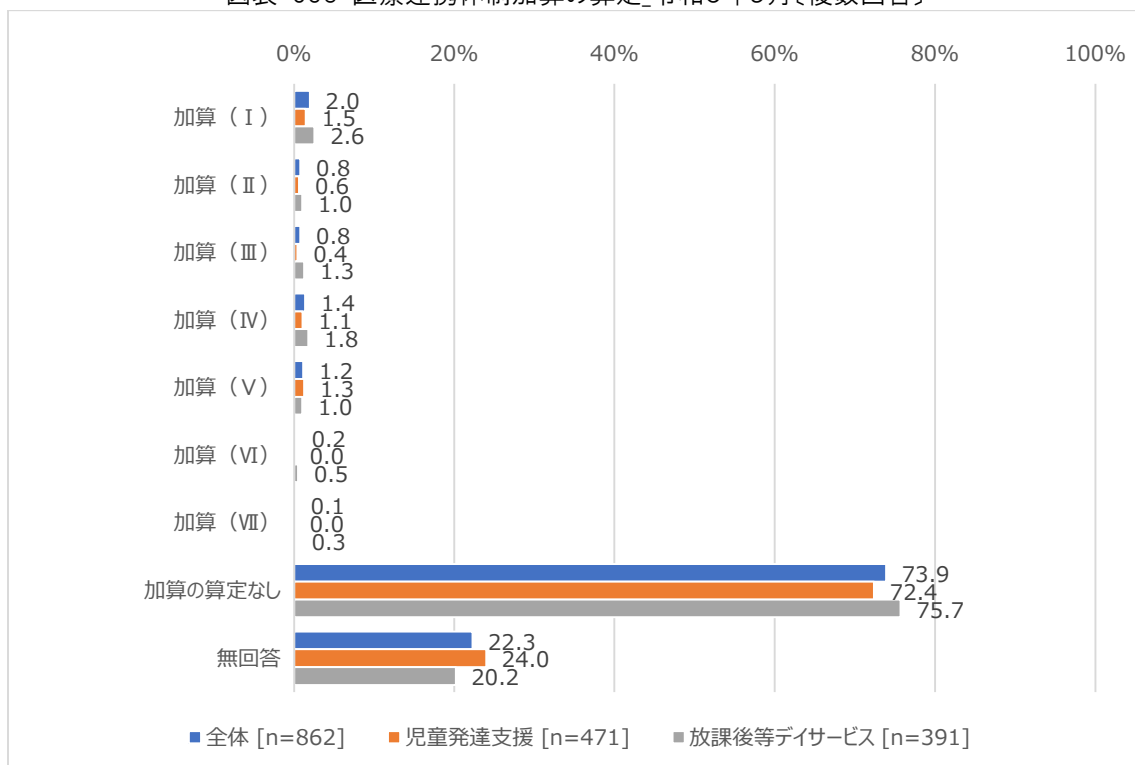
⑦調査対象サービスにおける医療連携体制加算の算定状況

調査対象サービスにおける医療連携体制加算の算定状況について聞いたところ、「加算の算定なし」が、令和5年9月は73.5%、令和6年9月は73.9%となっている。なお、「無回答」が比較的多くなっているが、加算を算定していない事業所が回答しなかった場合等が含まれると推察される。

図表 537 医療連携体制加算の算定_令和5年9月〔複数回答〕

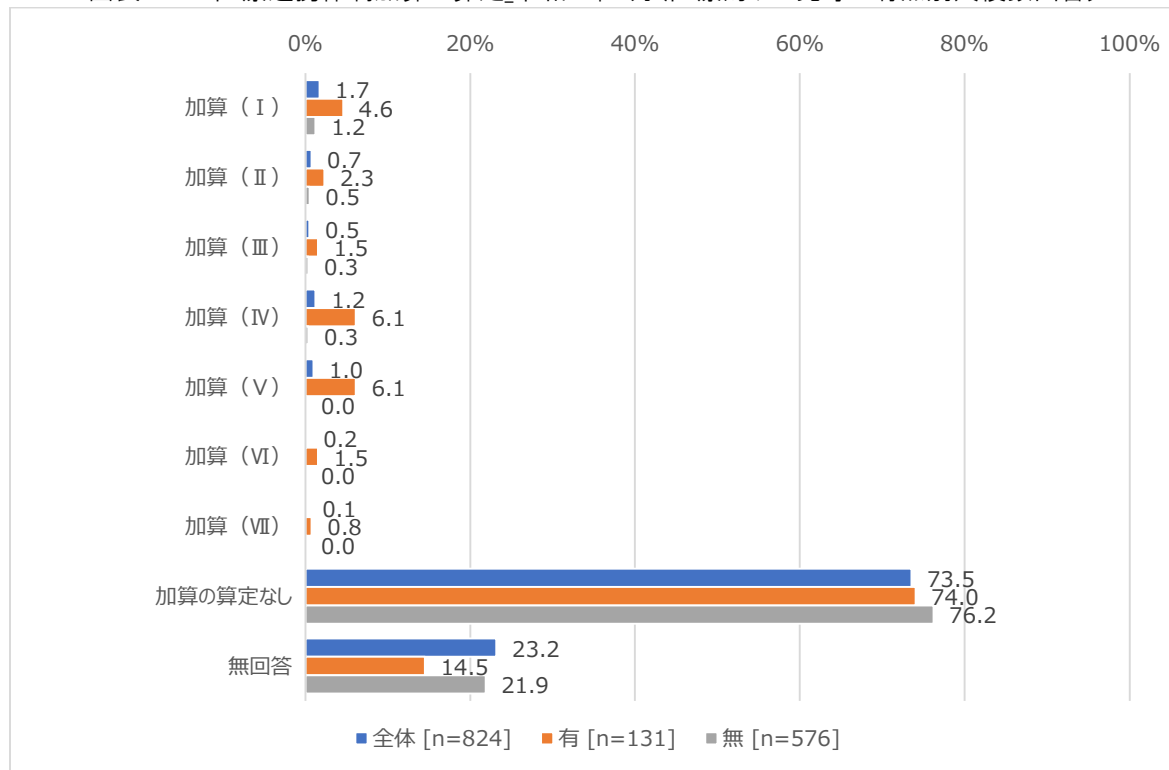


図表 538 医療連携体制加算の算定_令和6年9月〔複数回答〕

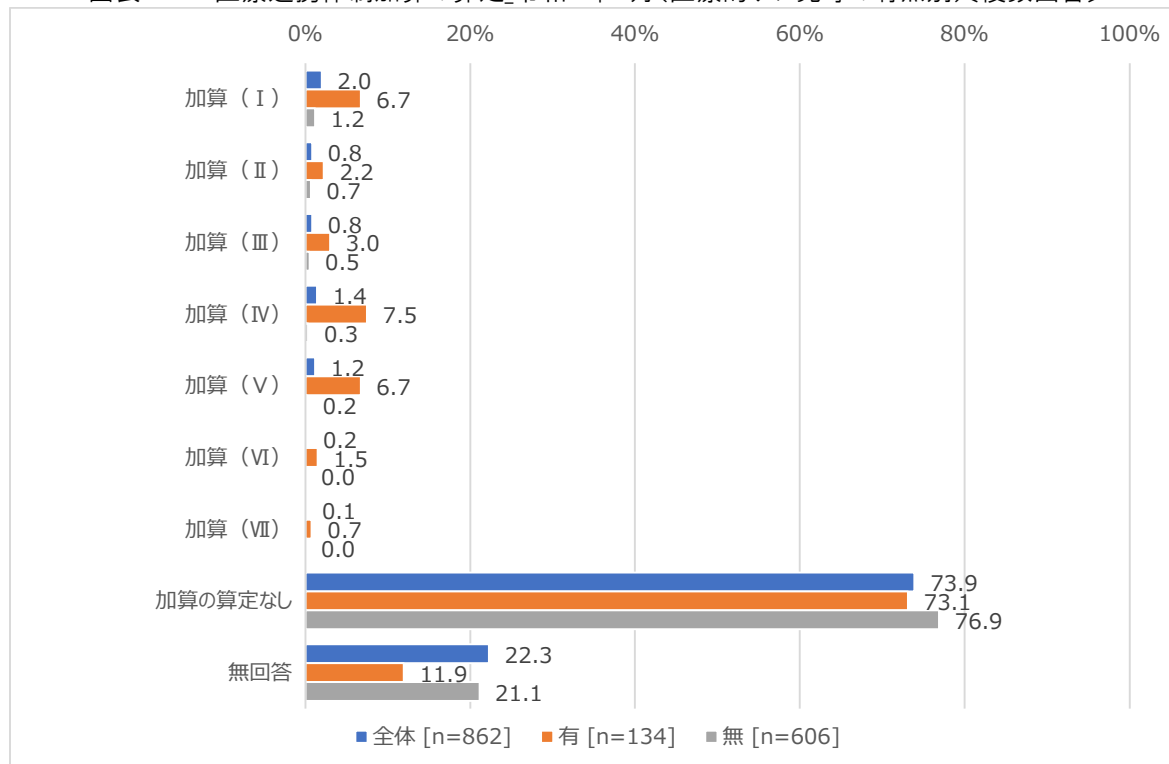


利用者に医療的ケア児等がいるかどうかで見ると、医療的ケア児等がいる事業所で加算の算定割合が比較的高くなっている。

図表 539 医療連携体制加算の算定_令和5年9月(医療的ケア児等の有無別)[複数回答]

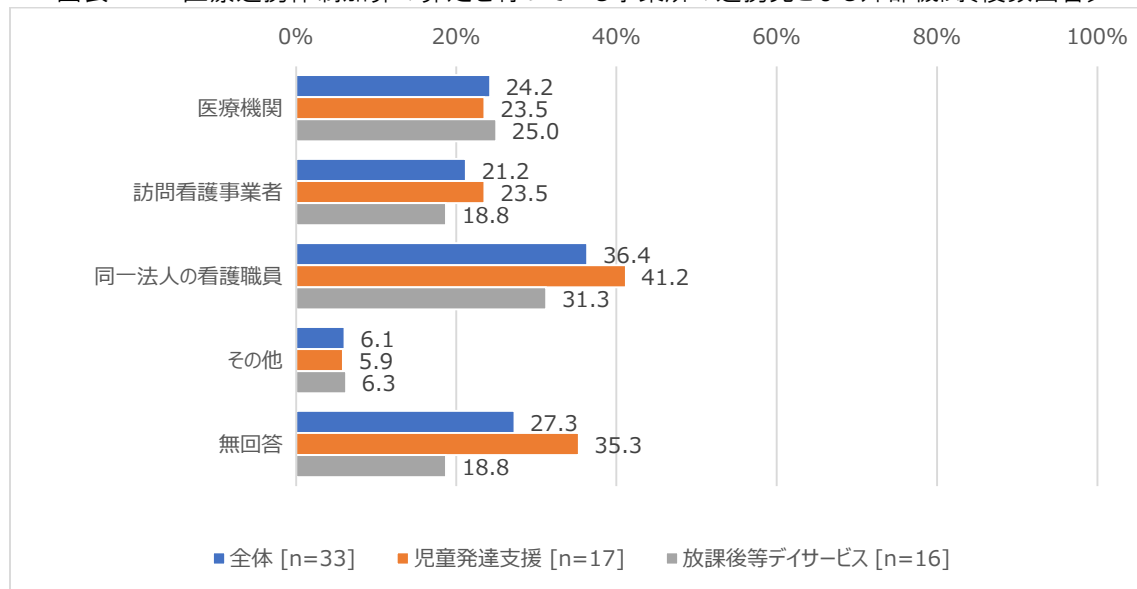


図表 540 医療連携体制加算の算定_令和6年9月(医療的ケア児等の有無別)[複数回答]



医療連携体制加算の算定を行っている事業所に、連携先となる外部機関を聞いたところ、「同一法人の看護職員」が36.4%となっている。なお、「無回答」が比較的多くなっているが、連携先の判断ができなかった場合等が含まれると推察される。

図表 541 医療連携体制加算の算定を行っている事業所の連携先となる外部機関〔複数回答〕



⑧基本報酬区分別の算定延べ日数（利用延べ人数）

基本報酬区分別の算定延べ日数（利用延べ人数）について聞いたところ、令和5年9月は平均で164.2日となっている。令和6年9月は平均で165.3日、うち、医療的ケア児等でない区分3の日数が多くなっている。

図表 542 基本報酬区分別の算定延べ日数(利用延べ人数)

(単位：日)		全体 [n=324]	児童発達支援 センター [n=48]	児童発達支援 事業所（重 心） [n=15]	児童発達支援 事業所 [n=113]	放課後等デ ィサービス（重 心） [n=9]	放課後等デ ィサービス [n=139]
令和5 年9 月	重症心身障害児	4.3	3.5	34.9	0.2	67.1	0.6
	医療的ケア児（32点以上）	0.6	0.2	4.5	0.2	7.1	0.3
	医療的ケア児（16点以上）	1.2	0.9	9.5	0.2	12.9	0.4
	医療的ケア児（3点以上）	1.8	4.2	3.8	0.2	22.4	0.7
	上記以外	156.3	368.5	5.4	79.7	4.0	171.5
	合計	164.2	377.3	58.1	80.6	113.6	173.4
(単位：日)		全体 [n=359]	児童発達支援 センター [n=47]	児童発達支援 事業所（重 心） [n=19]	児童発達支援 事業所 [n=129]	放課後等デ ィサービス（重 心） [n=12]	放課後等デ ィサービス [n=152]
令和6 年9 月	重症心身障害児	4.9	2.6	34.6	0.9	59.0	1.0
	医療的ケア児 （32点以上）	区分1	0.2	0.1	0.1	2.4	0.2
		区分2	0.2	0.0	0.0	1.3	0.0
		区分3	0.3	0.0	0.1	1.7	0.0
	医療的ケア児 （16点以上）	区分1	0.4	0.4	0.1	5.9	0.2
		区分2	0.5	0.0	0.1	2.6	0.2
		区分3	0.3	0.1	0.2	1.5	0.0
	医療的ケア児 （3点以上）	区分1	0.6	0.8	0.2	4.6	0.0
		区分2	0.4	0.0	0.0	4.2	0.5
		区分3	0.6	2.6	0.0	5.2	0.1
	上記以外	区分1	29.7	53.7	2.8	4.9	32.7
		区分2	61.8	30.4	0.7	0.0	108.0
		区分3	65.4	317.8	1.1	0.1	34.0
	合計	165.3	408.6	60.8	84.8	93.3	177.1

⑨サービス提供時間別の実人数

サービス提供時間別の実人数について、児童発達支援センター・児童発達支援事業所の状況を見ると、令和5年9月は、平均で3時間以上5時間未満が5.6人、5時間以上が3.5人、1時間以上1時間30分未満が2.6人等となっている。

令和6年9月は、平均で3時間以上5時間未満が6.2人、5時間以上が3.6人、1時間以上1時間30分未満が2.5人等となっている。

図表 543 サービス提供時間別の実人数(児童発達支援センター・児童発達支援事業所)

(単位：人)	令和5年9月				令和6年9月			
	全体 [n=261]	児童発達支援センター [n=69]	児童発達支援事業所 (重心) [n=17]	児童発達支援事業所 [n=175]	全体 [n=288]	児童発達支援センター [n=72]	児童発達支援事業所 (重心) [n=20]	児童発達支援事業所 [n=196]
30分未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30分以上1時間未満	2.0	2.2	0.6	2.0	2.0	2.3	0.3	2.1
1時間以上1時間30分未満	2.6	1.9	0.1	3.2	2.5	2.0	0.0	2.9
1時間30分以上2時間未満	1.9	1.8	0.1	2.2	2.4	1.8	0.1	2.9
2時間以上2時間30分未満	1.6	1.6	0.1	1.7	1.9	2.1	0.4	2.0
2時間30分以上3時間未満	1.1	1.3	0.2	1.1	0.9	0.8	0.6	0.9
3時間以上5時間未満	5.6	15.5	1.7	2.1	6.2	15.8	1.7	3.1
5時間以上	3.5	8.4	4.1	1.5	3.6	9.1	5.0	1.5
合計	18.3	32.7	6.8	13.8	19.5	33.8	7.9	15.4

放課後等デイサービスでは、令和5年9月は、平均で2時間以上2時間30分未満が4.7人、1時間30分以上2時間未満が3.9人等となっている。

令和6年9月は、平均で1時間30分以上2時間未満が5.3人、2時間以上2時間30分未満が4.6人等となっている。

図表 544 サービス提供時間別の実人数(放課後等デイサービス)

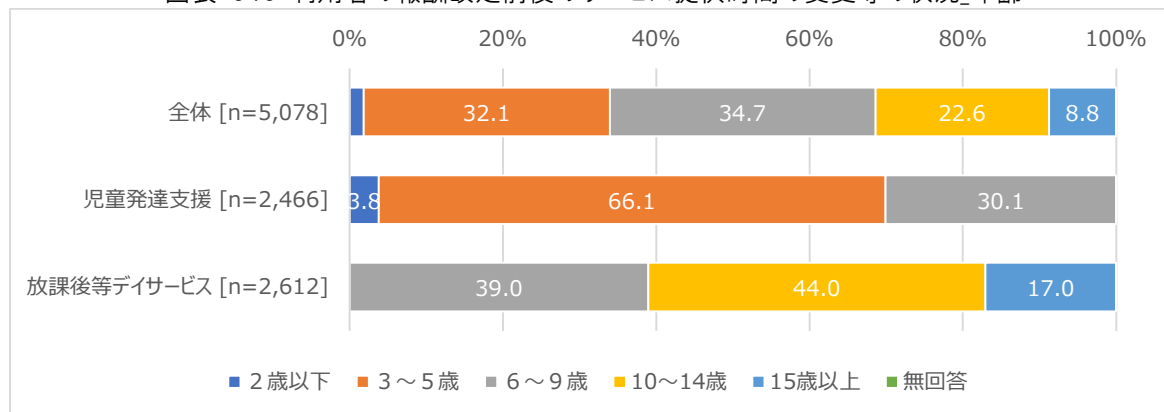
(単位：人)	令和5年9月			令和6年9月		
	全体 [n=211]	放課後等デイサービス (重心) [n=8]	放課後等デイサービス [n=203]	全体 [n=250]	放課後等デイサービス (重心) [n=10]	放課後等デイサービス [n=240]
30分未満	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
30分以上1時間未満	1.2	0.5	1.3	1.0	0.6	1.0
1時間以上1時間30分未満	2.4	2.5	2.4	2.1	1.5	2.1
1時間30分以上2時間未満	3.9	4.5	3.9	5.3	4.7	5.4
2時間以上2時間30分未満	4.7	0.0	4.8	4.6	0.1	4.8
2時間30分以上3時間未満	3.1	0.0	3.2	3.4	0.6	3.5
3時間以上	2.8	2.9	2.7	2.9	2.6	2.9
合計	18.1	10.4	18.4	19.4	10.1	19.8

⑩利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の個別状況

利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況について、個別の状況を聞いたところ、5,078人分の回答があった。

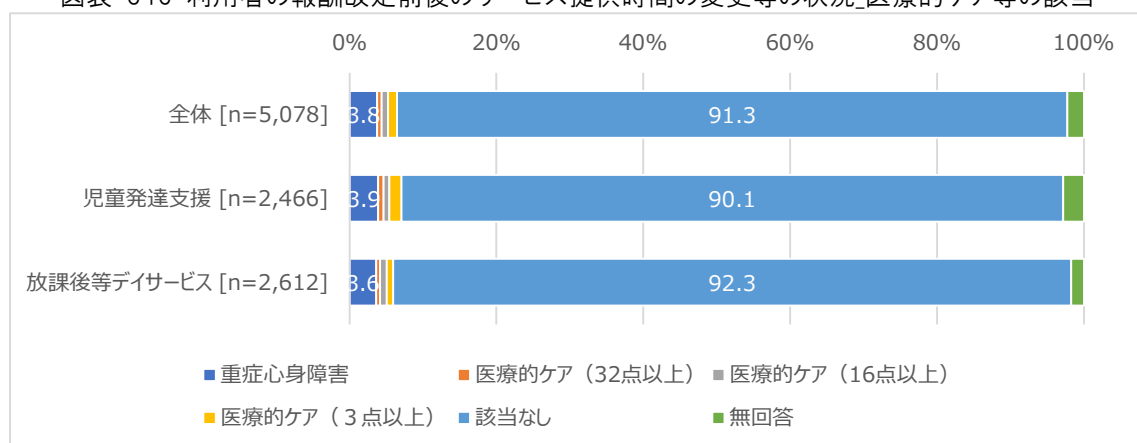
該当者の年齢は、「6～9歳」が34.7%、「3～5歳」が32.1%、「10～14歳」が22.6%等となっている。

図表 545 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_年齢



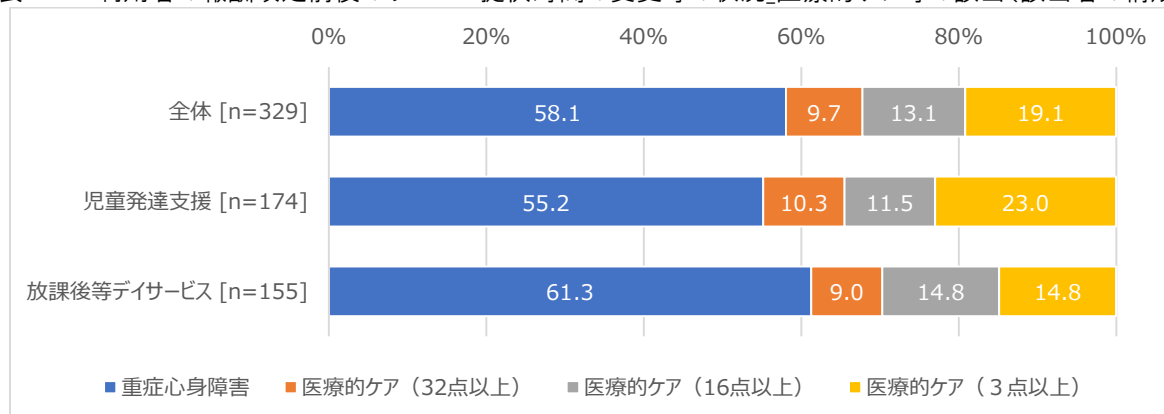
医療的ケア等の該当状況は、「該当なし」が91.3%と多くなっている。

図表 546 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_医療的ケア等の該当



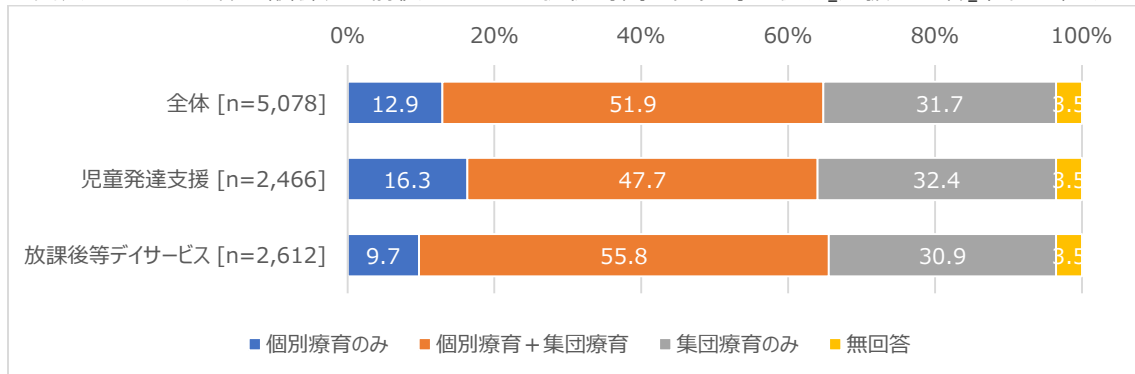
医療的ケア等の該当状況について、該当者に限定して構成比を見ると、「重症心身障害」が58.1%、「医療的ケア（3点以上）」が19.1%等となっている。

図表 547 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_医療的ケア等の該当（該当者の構成比）

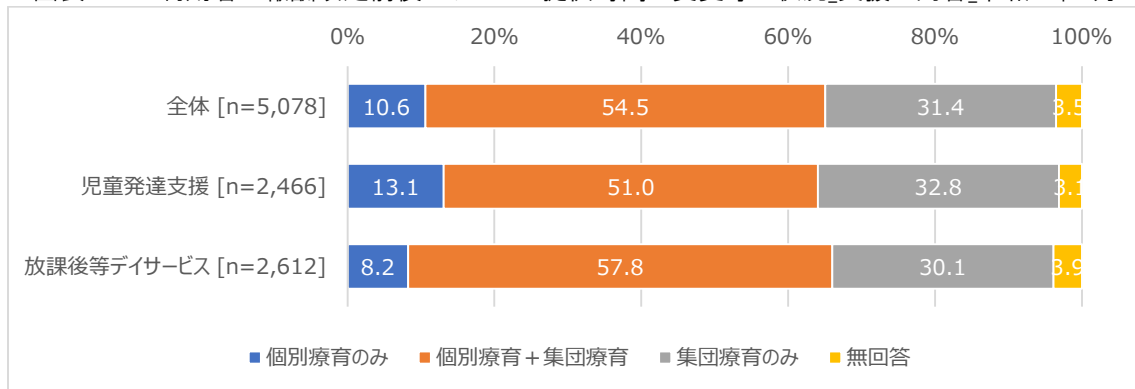


支援の内容については、令和5年9月では、「個別療育+集団療育」が51.9%、「集団療育のみ」が31.7%、「個別療育のみ」が12.9%となっている。令和6年9月では、「個別療育+集団療育」が54.5%、「集団療育のみ」が31.4%、「個別療育のみ」が10.6%となっている。

図表 548 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_支援の内容_令和5年9月

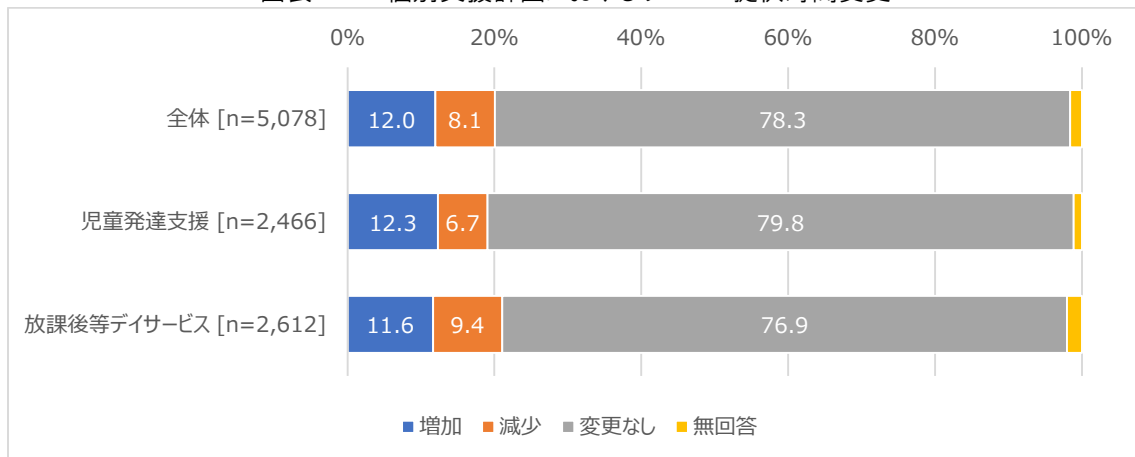


図表 549 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_支援の内容_令和6年9月



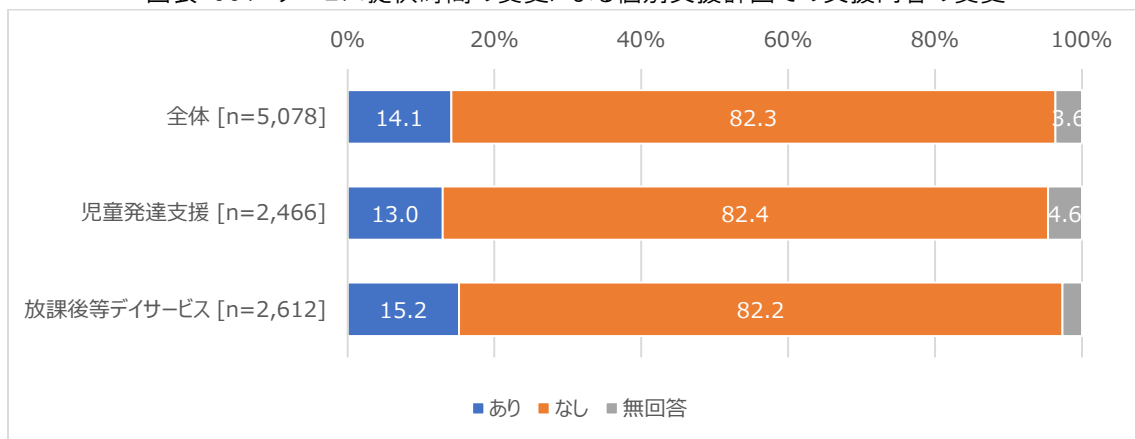
個別支援計画におけるサービス提供時間の変更状況を聞いたところ、「変更なし」が78.3%、「増加」が12.0%、「減少」が8.1%となっている。

図表 550 個別支援計画におけるサービス提供時間変更



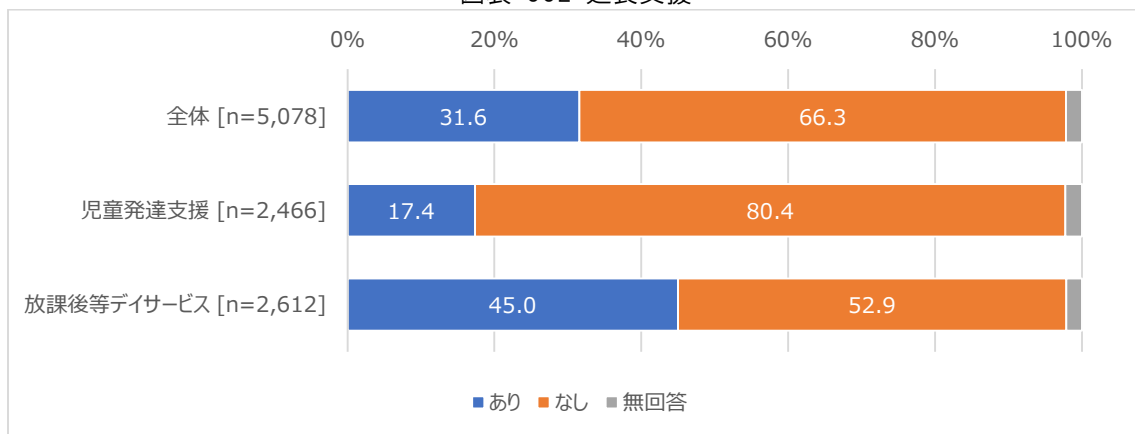
サービス提供時間の変更による個別支援計画での支援内容の変更は、「なし」が 82.3%、「あり」が 14.1% となっている。

図表 551 サービス提供時間の変更による個別支援計画での支援内容の変更



延長支援については、「なし」が 66.3%、「あり」が 31.6%となっている。

図表 552 延長支援



利用者の令和 6 年 9 月の算定日数は、平均で区分 1 が 1.9 日、区分 2 が 4.4 日、区分 3 が 3.2 日、合計が 9.4 日となっている。

図表 553 利用者の報酬改定前後のサービス提供時間の変更等の状況_令和6年9月の算定日数

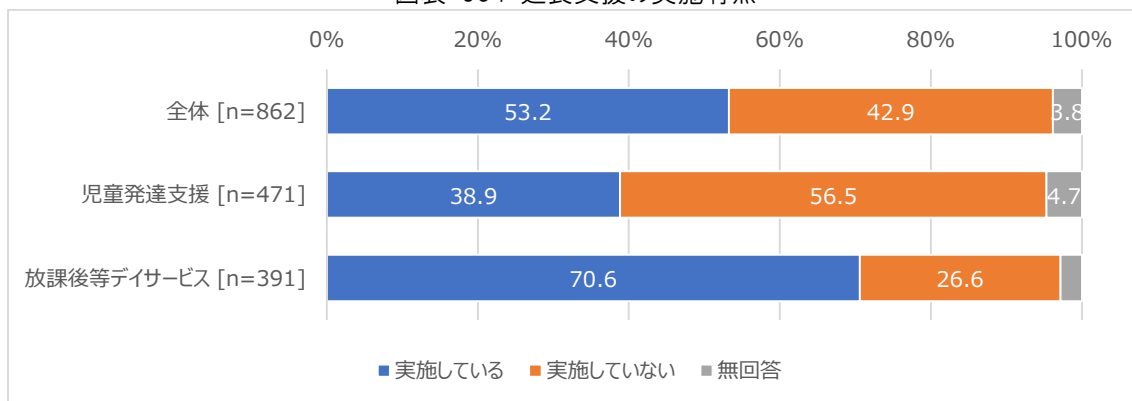
(単位 : 日)	全体 [n=4,477]	児童発達支援 [n=2,139]	放課後等デイサービス [n=2,338]
区分 1	1.9	1.7	2.0
区分 2	4.4	2.2	6.4
区分 3	3.2	5.4	1.1
合計	9.4	9.3	9.6

(3) サービス提供等の状況

①延長支援の状況

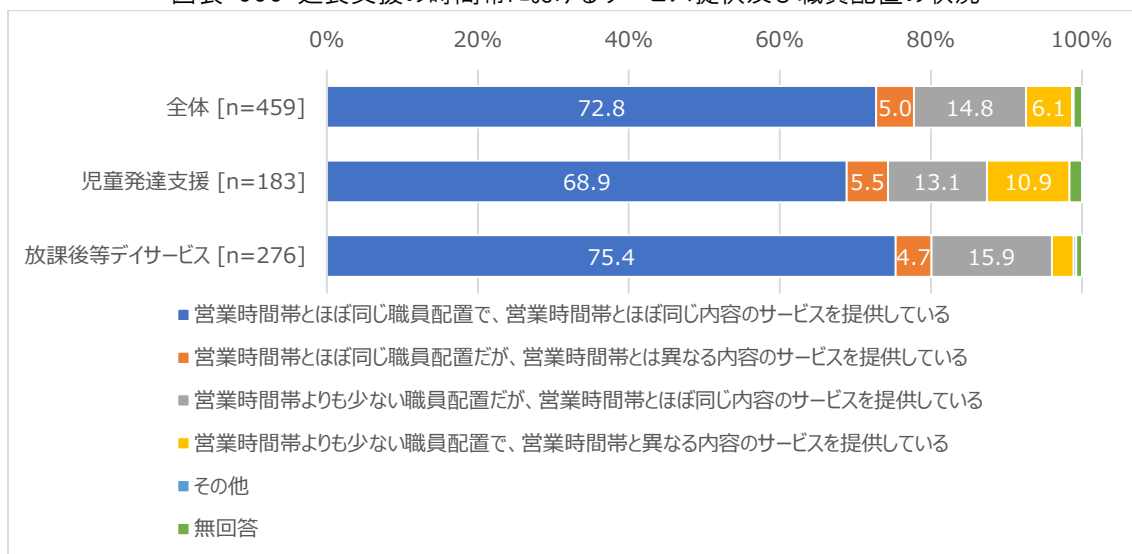
延長支援の実施の有無については、「実施している」が 53.2%、「実施していない」が 42.9%となっている。

図表 554 延長支援の実施有無



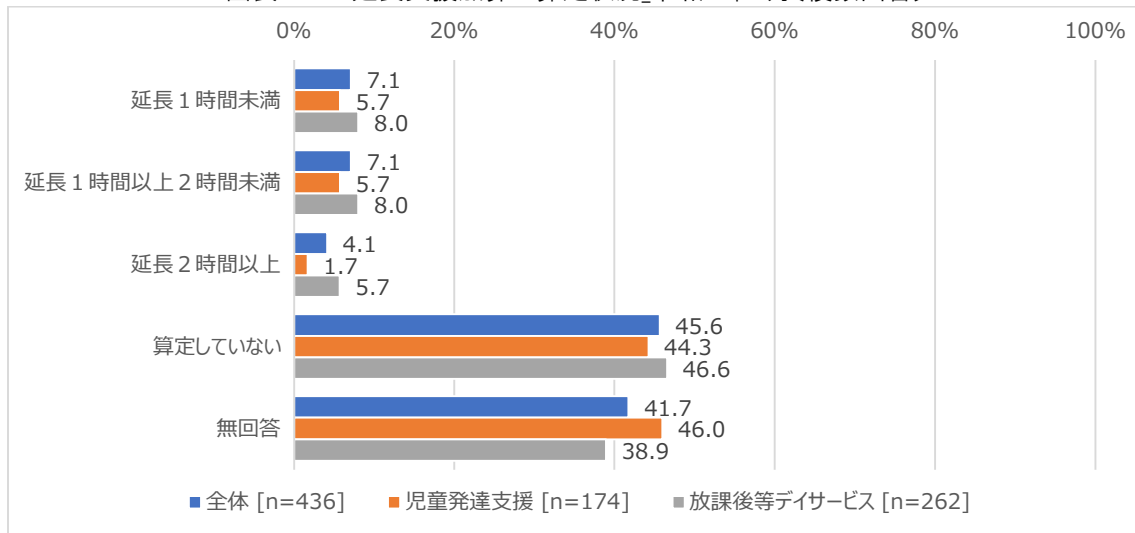
延長支援を実施している事業所に、延長支援の時間帯におけるサービス提供及び職員配置の状況について聞いたところ、「営業時間帯とほぼ同じ職員配置で、営業時間帯とほぼ同じ内容のサービスを提供している」が 72.8%と多くなっている。

図表 555 延長支援の時間帯におけるサービス提供及び職員配置の状況

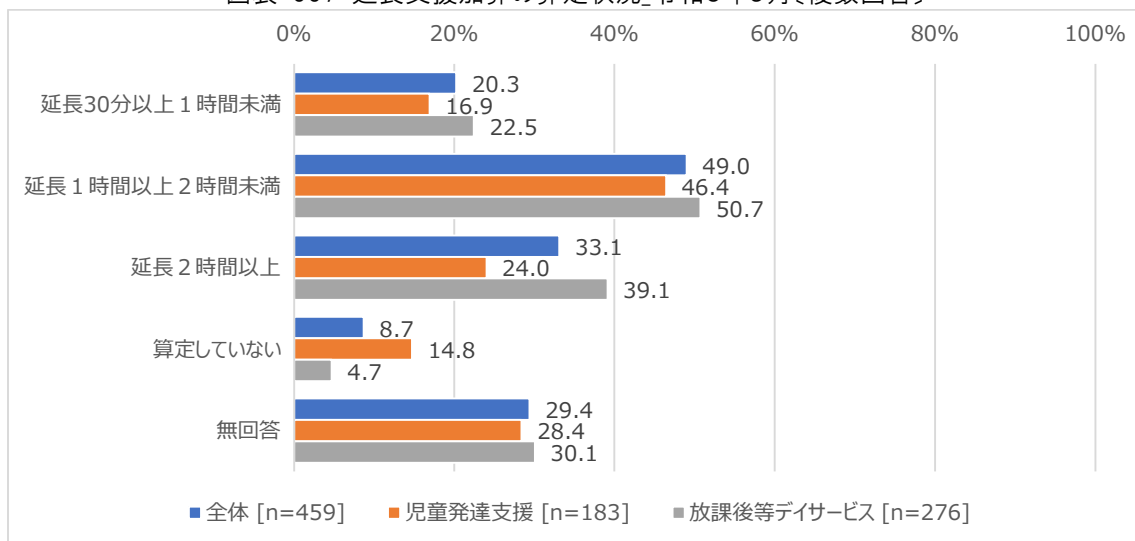


延長支援を実施している事業所に、延長支援加算の算定状況を聞いたところ、令和5年9月は、「算定していない」が45.6%となっている。令和6年9月は、「延長1時間以上2時間未満」が49.0%、「延長2時間以上」が33.1%、「延長30分以上1時間未満」が20.3%となっており、「算定していない」は少なくなっている。なお、「無回答」が比較的多くなっているが、加算を算定していない事業所が回答しなかった場合等が含まれると推察される。

図表 556 延長支援加算の算定状況_令和5年9月〔複数回答〕



図表 557 延長支援加算の算定状況_令和6年9月〔複数回答〕



図表 558 延長支援加算の算定日数_令和5年9月

(単位: 日)	全体 [n=73]	児童発達支援 [n=30]	放課後等デイサービス [n=43]
延長1時間未満	12.3	7.6	15.6
(単位: 日)	全体 [n=72]	児童発達支援 [n=31]	放課後等デイサービス [n=41]
延長1時間以上2時間未満	119.3	268.5	6.4
(単位: 日)	全体 [n=57]	児童発達支援 [n=24]	放課後等デイサービス [n=33]
延長2時間以上	7.0	11.0	4.1

図表 559 延長支援加算の配置職員数_令和5年9月

(単位: 人)	全体 [n=246]	児童発達支援 [n=95]	放課後等デイサービス [n=151]
児童発達支援管理責任者	1.1	0.9	1.1
(単位: 人)	全体 [n=230]	児童発達支援 [n=89]	放課後等デイサービス [n=141]
その他の職員	5.0	5.8	4.6

図表 560 延長支援加算の算定日数_令和6年9月

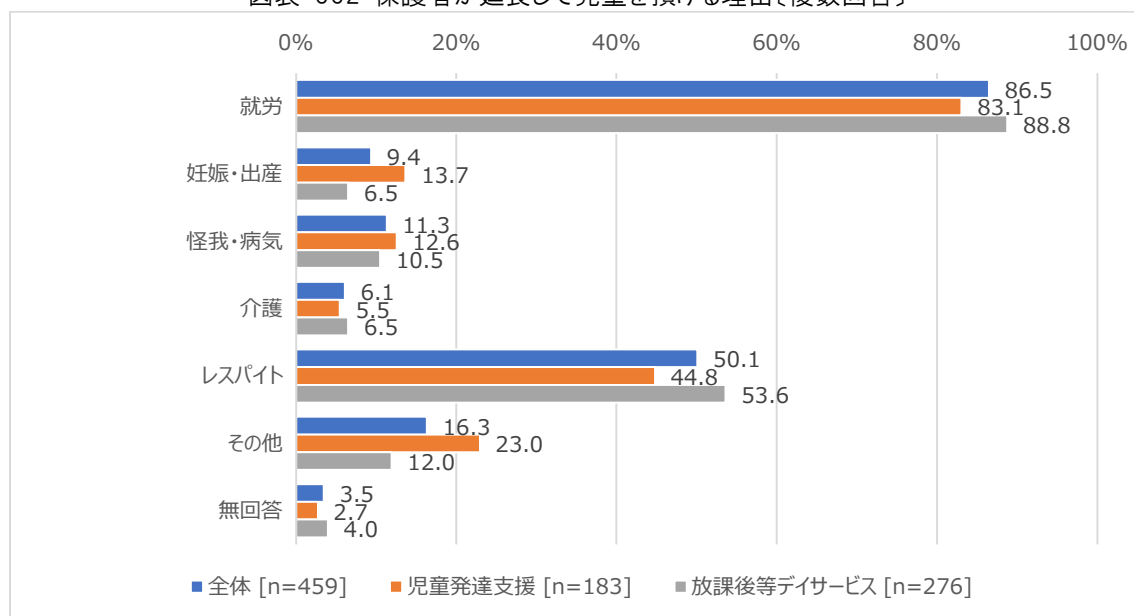
(単位: 日)	全体 [n=140]	児童発達支援 [n=51]	放課後等デイサービス [n=89]
延長30分以上 1 時間未満	9.1	8.3	9.6
(単位: 日)	全体 [n=281]	児童発達支援 [n=105]	放課後等デイサービス [n=176]
延長 1 時間以上 2 時間未満	34.2	59.3	19.3
(単位: 日)	全体 [n=207]	児童発達支援 [n=65]	放課後等デイサービス [n=142]
延長 2 時間以上	21.9	33.4	16.7

図表 561 延長支援加算の配置職員数_令和6年9月

(単位: 人)	全体 [n=377]	児童発達支援 [n=137]	放課後等デイサービス [n=240]
児童発達支援管理責任者	1.1	1.0	1.1
(単位: 人)	全体 [n=365]	児童発達支援 [n=132]	放課後等デイサービス [n=233]
その他の職員	4.9	5.7	4.4

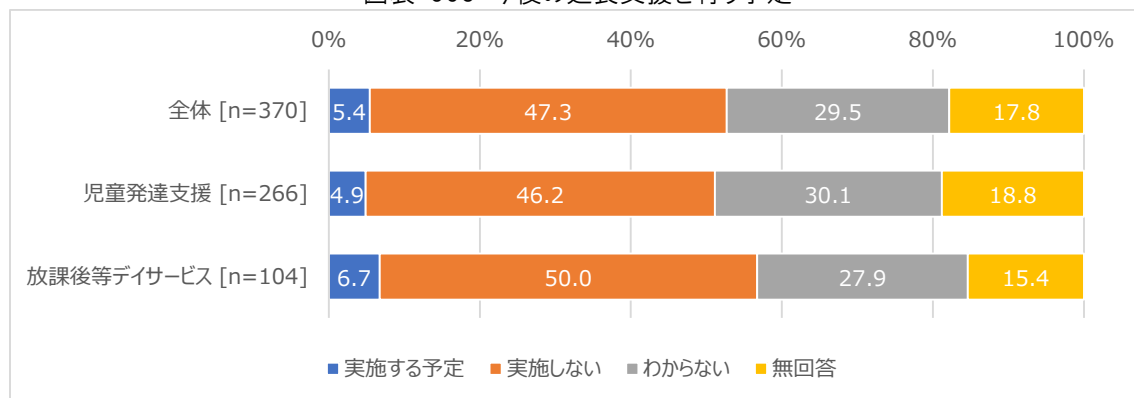
保護者が延長して児童を預ける理由について聞いたところ、「就労」が86.5%、「レスパイト」が50.1%となっている。なお、「その他」については、きょうだいの都合（学校行事等）などの回答が多くなっている。

図表 562 保護者が延長して児童を預ける理由〔複数回答〕



延長支援を実施していない事業所に、今後の延長支援を行う予定を聞いたところ、「実施しない」が47.3%、「わからない」が29.5%となっている。なお、「無回答」が比較的多くなっているが、判断できない事業所が回答しなかった場合等が含まれると推察される。

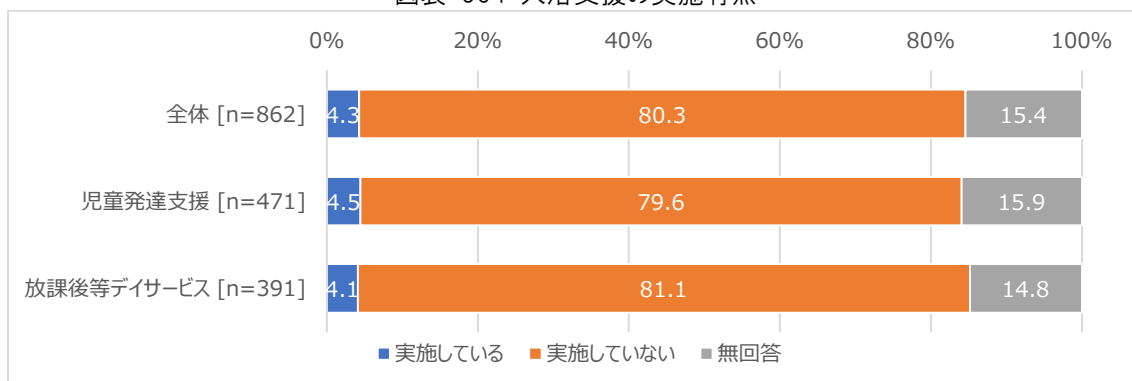
図表 563 今後の延長支援を行う予定



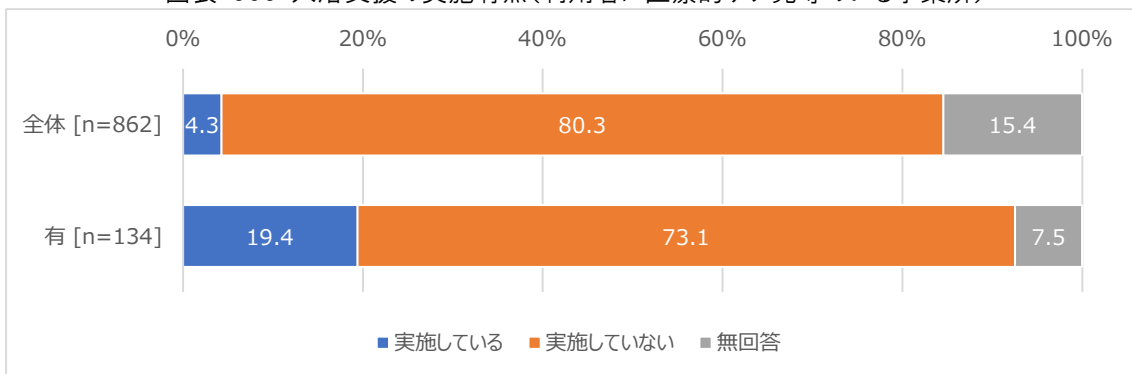
②入浴支援の状況

入浴支援の実施の有無は、「実施していない」が80.3%と多くなっている。利用者に医療的ケア児等のいる事業所で見ると、「実施している」は19.4%となっている。

図表 564 入浴支援の実施有無

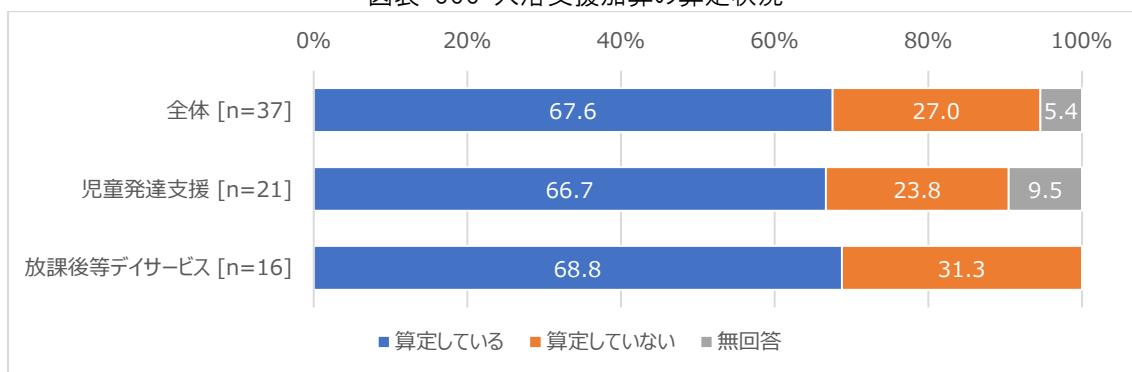


図表 565 入浴支援の実施有無(利用者に医療的ケア児等のいる事業所)



入浴支援を実施している事業所に、入浴支援加算の算定状況を聞いたところ、「算定している」が67.6%、「算定していない」が27.0%となっている。また、算定している事業所の算定延べ回数は、平均で28.0回となっている。

図表 566 入浴支援加算の算定状況

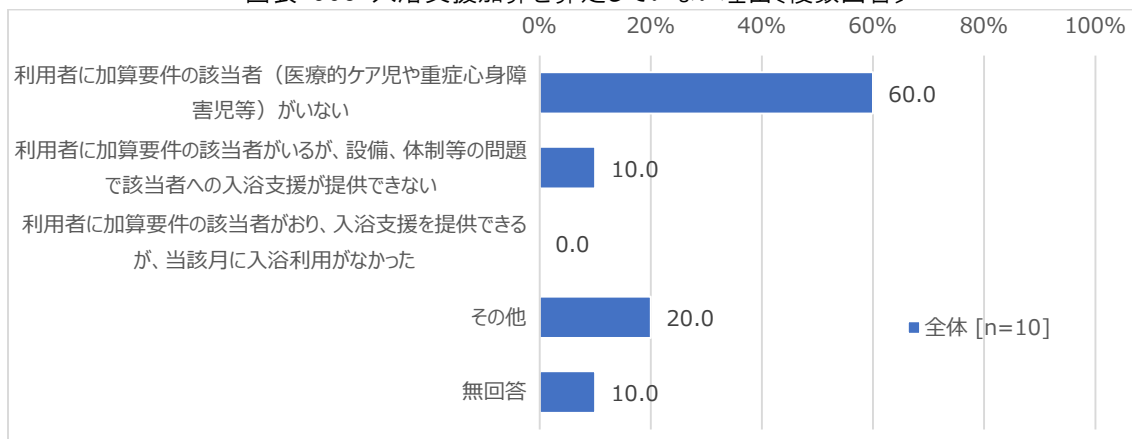


図表 567 入浴支援加算の算定延べ回数

(単位: 回)	全体 [n=23]	児童発達支援 [n=14]	放課後等デイサービス [n=9]
算定延べ回数	28.0	27.6	28.7

入浴支援を実施しており、入浴支援加算を算定していない事業所に、算定していない理由を聞いたところ、「利用者に加算要件の該当者（医療的ケア児や重症心身障害児等）がない」が60.0%となっている。

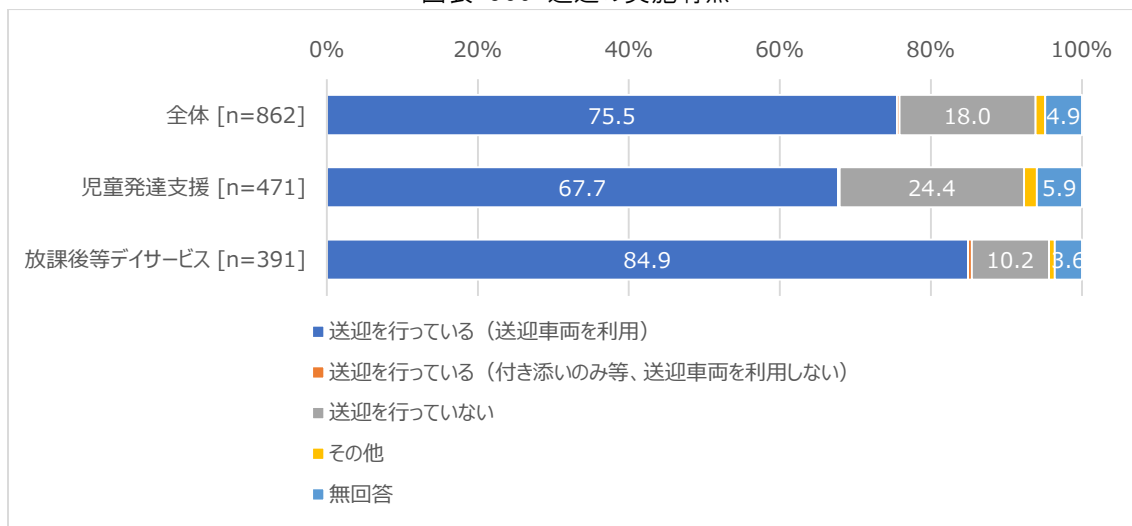
図表 568 入浴支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



③送迎の状況

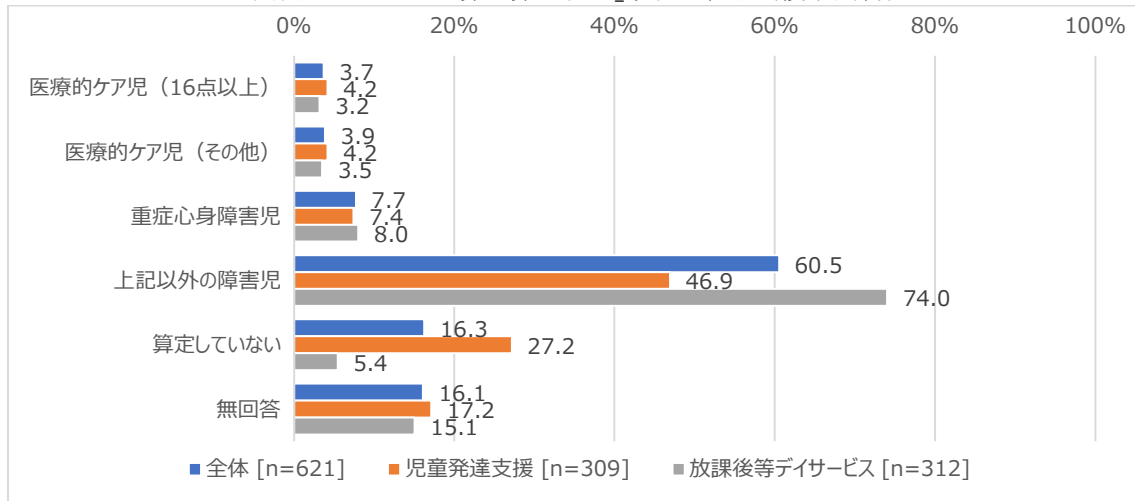
送迎の実施の有無は、「送迎を行っている（送迎車両を利用）」が75.5%と多くなっている。

図表 569 送迎の実施有無

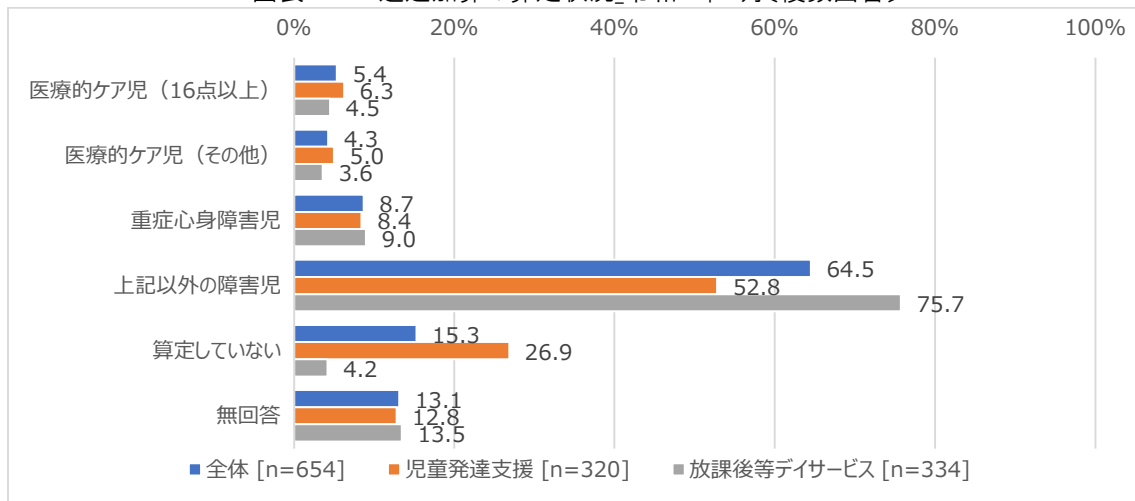


送迎を実施している事業所に、送迎加算の算定状況を聞いたところ、令和5年9月では「算定していない」は16.3%、令和6年9月では「算定していない」は15.3%となっており、多くの事業所が算定している。なお、「無回答」が比較的多くなっているが、加算を算定していない事業所が回答しなかった場合等が含まれると推察される。

図表 570 送迎加算の算定状況_令和5年9月〔複数回答〕



図表 571 送迎加算の算定状況_令和6年9月〔複数回答〕



図表 572 送迎加算の算定延べ回数_令和5年9月

(単位：回)	全体 [n=373]	児童発達支援 [n=152]	放課後等デイサービス [n=221]
医療的ケア児（16点以上）	1.9	2.4	1.6
(単位：回)	全体 [n=373]	児童発達支援 [n=152]	放課後等デイサービス [n=221]
医療的ケア児（その他）	2.4	1.9	2.7
(単位：回)	全体 [n=374]	児童発達支援 [n=152]	放課後等デイサービス [n=222]
重症心身障害児	6.7	9.0	5.1
(単位：回)	全体 [n=415]	児童発達支援 [n=168]	放課後等デイサービス [n=247]
上記以外の障害児	216.6	139.2	269.2

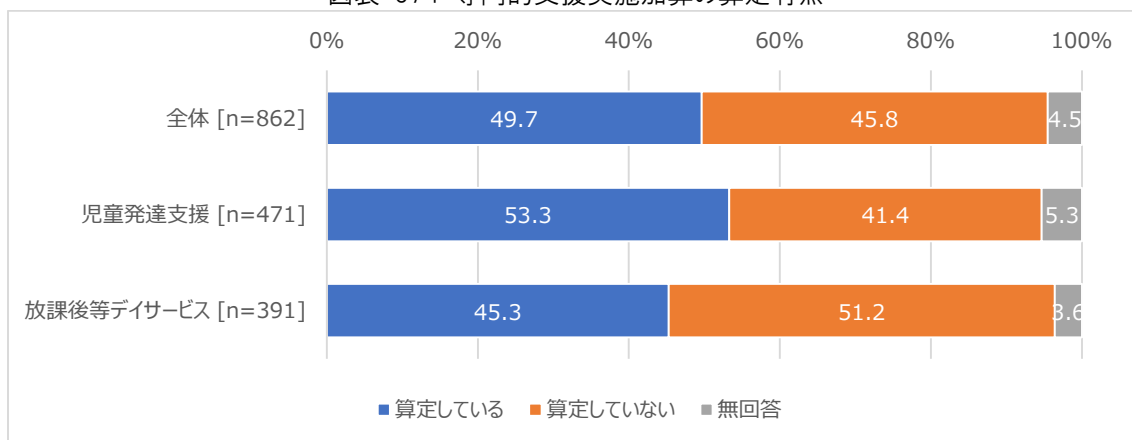
図表 573 送迎加算の算定延べ回数_令和6年9月

(単位：回)	全体 [n=371]	児童発達支援 [n=152]	放課後等デイサービス [n=219]
医療的ケア児（16点以上）	2.8	3.4	2.3
(単位：回)	全体 [n=366]	児童発達支援 [n=149]	放課後等デイサービス [n=217]
医療的ケア児（その他）	2.9	3.7	2.4
(単位：回)	全体 [n=371]	児童発達支援 [n=150]	放課後等デイサービス [n=221]
重症心身障害児	7.7	7.1	8.1
(単位：回)	全体 [n=440]	児童発達支援 [n=185]	放課後等デイサービス [n=255]
上記以外の障害児	232.2	147.0	293.9

④専門的支援実施加算の状況

専門的支援実施加算の算定有無については、「算定している」が49.7%、「算定していない」が45.8%となっている。

図表 574 専門的支援実施加算の算定有無



専門的支援実施加算を算定している事業所に、加算算定において配置している専門職の職種を聞いたところ、「保育士（５年以上）」が46.3%、「児童指導員（５年以上）」が33.6%、「心理担当職員」が27.8%、「作業療法士」が27.1%、「理学療法士」が24.3%となっている。

図表 575 加算算定において配置している専門職の職種〔複数回答〕

